長野市公共施設適正化検討委員会　現地視察日程

令和元年５月16日（木）

時刻	所要時間	場所	担当課
10:00		集合 （市役所第一庁舎市民交流スペース）	公共施設マネジメント推進課℡224-7592
10:05		**出発（第一庁舎前　市役所広場駐車場）**	
↓	30分	（移動）	
10:35 11:05		**１　スパイラル（30分）** **【スパイラルの現状について、市民プール個別施設計画について】** **（スポーツ課：説明10分　【会場】管理棟）** **質疑応答10分　視察10分**	スポーツ課℡224-5083
↓	5分	（移動）	
11:10 11:55		**２　飯綱高原サウンディング（45分）** **【飯綱高原観光施設・（仮称）山の駅について】** **（観光振興課：説明10分　【会場】ハイランドホール）** **質疑応答10分** **視察25分** **①ハイランドホール飯綱　10分→（移動5分）** **②山の駅想定地　10分**	観光振興課℡224-5042
↓	5分	（移動）	
12:00 12:45		アゼィリア飯綱 【昼食　12:00～12:45（45分）】	観光振興課℡224-5042 アゼィリア飯綱 ℡239-2522
↓	40分	（移動）	
13:25 13:40		**３　芹田総合市民センター（15分）** **【芹田総合市民センター整備について】** **（家庭・地域学びの課：説明5分　【会場】芹田公民館）** **質疑応答5分** **視察5分**	家庭・地域学びの課 ℡224-5082 地域活動支援課 ℡224-7615
↓	20分	（移動）　**車中より　芹田支所**	
14:00 15:40		**４　篠ノ井地区サウンディング（100分）** **【①篠ノ井中央公園について、城山公園について】** **（公園緑地課：説明10分　【会場】公園管理棟）** **【②篠ノ井駅西口低未利用地について】** **（都市政策課：説明10分　同上）** **質疑応答計20分** **視察60分** **（移動5分）** **①便益施設想定地　5分→（移動15分）** **②-1篠ノ井駅西口低未利用地　10分→（移動10分）** **②-2南部図書館　15分** **②参考（篠ノ井総合市民センター）**	公園緑地課 ℡224-5054① 都市政策課 ℡224-5050②、②-1 地域活動支援課 ℡224-7615②-2 家庭・地域学びの課 ℡224-5082②-2 南部図書館 ℡292-0143②-2
↓	30分	（移動）	
16:10 16:30		**５　長野駅東口公園（20分）** **【長野駅東口公園及び区画整理事業について 】** **（駅周辺整備課：説明10分　【会場】屋根付休憩施設）** **質疑応答5分　視察5分**	駅周辺整備課℡224-5162 公園緑地課℡224-5054
↓	5分	（移動）	
16:35		**市役所　到着（第一庁舎前　市役所広場駐車場）**	
同上		（解散）	

令和元年第１回長野市公共施設適正化検討委員会　現地視察

１　**開催日**　　令和１年５月 16 日（木）　午前 10 時～午後４時 35 分

２　**日　程**　　別紙のとおり

３　**現地視察の施設について**

(1) スパイラル《担当：文化スポーツ振興部　スポーツ課》

目的：　1998 年長野冬季五輪のボブスレー・リュージュ競技会場として整備され、大会後は競技会や選手育成のほか、レジャー利用など周辺施設を含めて活用する。

概要：敷地面積 18 万㎡、コース総延長 1,700m、標高差 113m、ﾌﾟｯｼｭﾄﾗｯｸ 延長 120m
主な施設：管理棟（会議室）、スタートハウス、計量棟、そり格納庫

(2) 飯綱高原観光施設《担当：商工観光部　観光振興課》

目的：市民および観光客のレクリエーションと健康又は文化活動の増進に資する。

概要：【飯綱高原スキー場】面積 109.74㌶、コース数 10 コース、コース総延長 4,500m、リフト７基　※2019/2020 シーズン限りで市は営業から撤退

【ハイランドホール飯綱】鉄骨２階一部平屋建、延床面積 1,190.34 ㎡
１階：ステージ、管理事務所　　２階：休憩所等

【小天狗の森フィールドアスレチック】　遊具 33 ポイント　延長 700m

【飯綱高原キャンプ場】ログキャビン 12 棟、バンガロー５棟、貸テント 38 張、炊事場３箇所、公衆トイレ

【飯綱高原ボート場】普通ボート９槽　ペダルボート６槽、救助艇１隻、管理事務所

【飯綱高原運動広場】グラウンド４箇所、テニスコート７面

【アゼィリア飯綱】鉄筋コンクリート造 地上３階 地下１階、延床面積4,846.13㎡、収容人数 139 人、客室 31、食堂、大広間、中和室、会議室３、体育館、テニスコート４面

(3) 芹田総合市民センター《担当：教育委員会事務局　家庭・地域学びの課、地域・市民生活部　地域活動支援課》

目的：老朽化した現芹田公民館の建て替えにあわせ、芹田支所と複合施設として整備することによって、市民が安心して快適に施設を利用できるとともに、災害時の防災活動の拠点としての機能や生涯学習の活動拠点になるよう芹田地区のまちづくりの拠点として整備を進める。

概要：支所、公民館の複合施設
・支　　所：事務室、会議室　等
・公民館：多目的ホール、学習室１～３、和室、工芸室、料理教室

(4) ①-1 篠ノ井中央公園《担当：都市整備部　公園緑地課》

目的：地域の身近な住区基幹公園（地区公園）として設置。「長野市緑を豊かにする計画」では、緑育及び防災・レクリエーションの拠点として位置付けている。

概要：開設面積：６㌶、主な施設：管理棟、トイレ３カ所、四阿、遊具広場、駐車場ほか

(4)①-2 城山公園《担当：都市整備部　公園緑地課》

目的：全市的な利用を図る都市基幹公園として設置。自然環境の保全や防災機能の確保などの時代の要請に配慮しつつ、樹林地の確保や小動物の住める場の創出のほか、レクリエーション、文化活動の拠点及び広域避難所として災害時の防災拠点としての役割を担う。

概要：公園種別：総合公園、開設面積：１３．５㌶

主な園内施設：○信濃美術館　○東山魁夷館　●噴水広場　●ふれあい広場
○蔵春閣　○少年科学センター　○市民プール　○テニスコート
●城山動物園など　（●：公園緑地課の所管施設）

(4)②-1 篠ノ井駅西口低未利用地《担当：都市整備部　都市政策課》

目的：長野新幹線の開業、冬季オリンピック開催に向け、篠ノ井駅周辺の利便性向上や活性化を目的に、鉄道清算事業団の敷地を市土地開発公社が先行買収したもの。

概要：面積：約 1.7 ㌶

(4)②-2 南部図書館《担当：教育委員会事務局　南部図書館、家庭・地域学びの課》

目的：図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する。
「市民に親しみをもって利用される図書館づくり、市民の要望にこたえられる図書館づくり、市民の生涯学習に役立つ図書館づくり」を基本目標としている。

概要：鉄筋コンクリート造２階建　一部地下１階、延床面積　2,130.68 ㎡
閲覧室、閉架書庫、事務室、資料室、会議室、移動図書館車庫

(4)②-参考　篠ノ井総合市民センター《担当：教育委員会事務局　家庭・地域学びの課、地域・市民生活部　地域活動支援課、保健福祉部　高齢者活躍支援課》

目的：老朽化し耐震性のない現篠ノ井支所、公民館の建替にあわせ、現在ほかの施設と併用している老人福祉センターを一体として整備することによって、市民が安心して快適に施設を利用できるとともに、災害時の防災活動の拠点としての機能や生涯学習、高齢者の生きがい活動の場となるような機能を持たせ、篠ノ井地区のまちづくりの拠点として整備を進める。

概要：支所、交流センター、老人福祉センターの複合施設
支所：事務室、会議室等、交流センター：多目的ホール（ステージ付き）、工作室、学習室、事務室、老人福祉センター：音楽室、料理教室、集会室、事務室

(5)長野駅東口公園《担当：都市整備部　市街地整備局 駅周辺整備課、公園緑地課》

目的：長野駅周辺地区の都市再生整備計画において、市民の憩いの場である公園の整備と地域コミュニティの活性化を目標に、土地区画整理事業で整備した。
地元住民の代表者で構成したワークショップにおいて、『まちなかの豊かなみどりのなかで、「遊び」、「憩い」、「ふれあい」ができる公園』をテーマに掲げ、設計した。

概要：面積：13,100 ㎡
主な施設：屋根付休憩施設・多目的トイレ・噴水・遊具・防災備蓄倉庫・防災四阿・防災トイレ・耐震性貯水槽・園路・水飲水栓・ベンチ・植栽・照明

施設概要調書

施設名： ボブスレー・リュージュパーク（スパイラル）　　担当課： 文化スポーツ振興部スポーツ課

所　在　地	長野市中曽根3700			
開　　設	平成８年12月			
施設概要	敷地面積 18万㎡、コース総延長 1,700m、標高差 113m プッシュトラック 延長 120m 管理棟（会議室）、スタートハウス、計量棟、そり格納庫			
指定管理者制度導入経過		公募・非公募	指定期間	指定管理者

施設利用状況	利用区分等	利用実績			
		H27	H28	H29	H30
	選手数	3,062	2,915	2,962	702
	入園者数（見学、イベント参加等）	3,277	3,143	3,912	2,152

設置目的、基本方針	1998年長野冬季五輪のボブスレー・リュージュ競技会場として整備され、大会後は競技会や選手育成のほか、レジャー利用など周辺施設を含めて活用する。
主な実施事業	・各種国際大会及び国内大会の開催 ・選手強化拠点（平成19年から国のﾅｼｮﾅﾙﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰ（NTC）に指定） ・そり競技の体験会
現状と課題	維持管理に多額の経費を要していることに加え利用者が少ないことなどから、長野市公共施設適正化検討委員会の提言を受け、平成29年度をもって冬期製氷を休止した（夏期のNTCとしては存続）。 今後、長野五輪メモリアル施設であることや現在の施設環境を活かし、長野市民に親しまれる施設として有効利用を図る。
そ　の　他	

全体平面図

航空写真

プッシュトラック

特 記 事 項

1　予算・決算（製氷休止前と休止後の比較）　（千円）

	支　出	収入（NTC※委託金）
休止前（H29 年度決算）	178,854	98,581
休止後（H31 年度予算）	15,868	4,339
差引	△162,986	△94,242

※　NTC・・・ナショナルトレーニングセンター

2　NTC 競技別強化拠点施設の指定について
平成 30 年４月１日～平成 34 年（2022 年）３月 31 日
夏期トレーニング施設として再指定
プッシュトラック、ローラーリュージュ、トレーニングルーム

3　競技以外の施設利用実績

(1) 平成 29 年８月 26 日　　マウンテンバイク等のイベント開催
「ザ・モンスター・パーク」と題し、マウンテンバイクやインラインスケートのトップ選手や愛好家がコース内を走るイベントを開催。

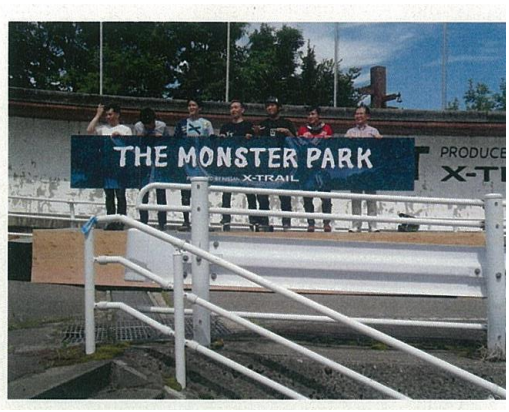
(2) 平成 30 年３月 30 日　　長野五輪エンブレムマークの整備
コース内に描かれていて劣化していたエンブレムマークを再塗装し、撮影スポットとする。

(3) 平成 31 年（2019 年）２月 10 日　　スノーシューイング体験会
スノーシュー（西洋カンジキ）をはいて雪の場内を散策

(4) 令和元年（2019 年）５月 11 日　ノルディックウォーキング・コースのオープン
NPO 法人日本ノルディックフィットネス協会公認コース（３km、５km）

競技以外の施設利用実績　写真

(1) マウンテンバイク等のイベント開催



(3) スノーシューイング体験会

(4) ノルディックウォーキング・コースのオープン

平成 29 年２月 20 日

長野市長　加藤　久雄　様

長野市ボブスレー・リュージュパークの在り方について
提　言　書

長野市公共施設適正化検討委員会
委員長　松岡　保正

長野市においては、インフラを含む公共施設等の老朽化が進み、人口減少・少子高齢社会を迎える中、将来にわたり持続可能な行財政経営を行っていくため、市民合意形成を図りつつ公共施設マネジメントを推進しています。

公共施設適正化検討委員会は、本市の公共施設マネジメント推進を踏まえ、2018 年平昌オリンピック以後の「ボブスレー・リュージュパーク（愛称スパイラル）」の在り方について、昨年 11 月から審議して参りました。

ここに提言書をまとめ、提出いたします。

市民の関心も高いことから、この提言を踏まえ、早期に結論を出していただくことを期待します。

（提　言）

2018 年、平昌五輪後の「スパイラル」の在り方については、冬季の製氷は「休止」とすることが妥当と判断する。

ただし、施設は夏期の競技トレーニングに利用して存続し、長野オリンピックメモリアルとして地域の活性化に資する活用ができる方向で検討することが望ましい。

（提言の理由）

1998 年の長野冬季オリンピック終了後、長野市はボブスレー・リュージュ競技会場であった「スパイラル」を 20 年間、競技施設として維持・管理し、オリンピック開催都市の役割を果たしてきた。

この間、国のＮＴＣ指定を受け、スパイラル友の会をはじめとする地元浅川地区の皆さんの献身的な協力を得ながら施設を維持してきたところである。

「スパイラル」は、競技の性質及び施設の特殊性から、冬期の製氷等に多額の経費を要し、競技者数も限られているため、国の強化事業委託料を受けていても、利用者一人当たりにかかる経費が突出しており、また、市民による利用が難しい施設であることから、市民の受益と負担のバランスを考慮しなげればならない。

また、施設建設から 20 年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでおり、今後も施設を継続していくためには、大規模な改修や更新が見込まれる。

この点は、平成 26 年度の包括外部監査で「長野市の負担において当該施設を維持していくことは困難と判断される。市民に利用されていない施設を市民の税金により負担することは特に考慮すべき事項である」と指摘され、平成 27 年度に市が策定した「公共施設マネジメント指針」においても「施設の在り方について早急に検討する」としている。

加えて、長年アジアで唯一の競技施設であったが、韓国平昌に新たな競技施設が建設され、北京冬季オリンピックに向けた施設建設も見込まれる状況である。

平成 26 年の市民アンケートで「オリンピック施設の将来について」の設問に対して、全ての施設を出来る限り存続させるべきとの回答は３％と僅かであり、状況に応じて施設ごとに見直しを行うべきとの回答が 9 割を超えていた。

現状においても、施設の維持管理に多大な税負担が生じており、加えて、施設の老朽化に対応するための経費を想定すると、国内唯一の施設と言えども利用者の限られる競技施設を、市が今後も継続して維持することは市民の理解が得られないと考える。

なお、施設を全面的に廃止した場合には、コース撤去等に多大な費用を要することから、当面は、施設にかかる維持管理費を軽減しながら、夏期トレーニング利用のため施設自体は存続し、オリンピックメモリアルとして、幅広い市民の利用及び地域活性化に資する活用が図れるよう、地元浅川地区をはじめ関係する皆さんと一緒に検討していくべきと考える。

（審議経過）

平成 28 年 11 月 24 日　第 18 回公共施設適正化検討委員会
平成 28 年 12 月 25 日　第 19 回公共施設適正化検討委員会（現地視察）
平成 29 年　1 月 19 日　第 21 回公共施設適正化検討委員会
平成 29 年　2 月 17 日　第 22 回公共施設適正化検討委員会

長野市公共施設個別施設計画
【市民プール編】について

令和元年５月

長野市文化スポーツ振興部
スポーツ課

1 市民プール個別施設計画策定までの経過

月	項　目	内　容
H30.6月	・経済文教委員会 ・公共施設の在り方調査研究特別委員会 ・長野市公共施設適正化検討委員会	・市民プール現状報告 ・　　〃 ・　　〃
8月	・部長会議 ・市議会政策説明会 ・公共施設の在り方調査研究特別委員会 ・長野市公共施設適正化検討委員会 ・長野市スポーツ推進審議会	・統廃合案説明 ・　　〃 ・　　〃　　（公表） ・　　〃 ・　　〃
9月	・経済文教委員会 ・公共施設の在り方調査研究特別委員会	・統廃合案説明 ・学校プールの今後について
～10月	・統廃合対象施設地元説明	・統廃合案説明
H31.1月	・部長会議 ・市議会政策説明会 ・パブリックコメント実施	・個別施設計画案の決定 ・　　〃　　説明 ・H31.1/25 ～ 2/25
4月	・部長会議 ・政策説明会 ・記者会見	・パブコメ結果及び計画の決定 ・　　〃　　説明 ・　　〃　　説明

2 施設の統廃合の方針

※第１期統廃合：２０１９年度のプール営業をもって、以降は廃止
※第２期統廃合：当面存続するが、段階的な統廃合に向けて時期等を検討

区域	施設名	評価	総合評価結果による対策	時期
北部	鬼無里	９	・市民プールとしては、統廃合の対象とするが、学校プールとしては存続する方向で教育委員会と協議する。 ・Ｂ＆Ｇ財団と今後について協議する。	第１期
	北　部	１１	・今後の城山公園の整備方針によって、統廃合について改めて検討し、その結果により、北部か城山のどちらか一方を存続	第２期
	城　山	１２		第２期
中部	信州新町	８	・市民プールとしては、統廃合の対象とするが、学校プールとしては小中学校の統合の検討と併せて教育委員会と協議する。	第１期
	芹　田	１４	・プール内に大きな亀裂が生じ、プール営業が難しい状態で、安茂里と同等の評価だが、同プールを統廃合の対象とする。 ・衛生センター建替えに伴う地元要望で建設されたため、廃止後は地元と協議する（公園等を検討）。	第１期
	安茂里	１４	・利用者が多く施設も比較的新しいことから、施設の長寿命化を図りながら存続	存　続
南部	茶臼山	１２	・利用者が少なく、統廃合の対象とする。 ・複合スポーツ施設内にあり、管理が容易に行えるため、廃止後は通年利用出来る屋外多目的スポーツ施設など機能向上を検討	第１期
	犀　南	１２	・利用者が少なく、茶臼山市民プールと同等の評価で、統廃合の対象として検討するところだが、市街化調整区域のため後利用が難しく、茶臼山プール廃止後の利用状況を見て段階的に廃止を検討	第２期
	青　垣	１９	・評価が高いことから、施設の長寿命化を図りながら存続	存　続

3 統廃合のスケジュール

■存続施設

・施設の長寿命化のための計画的保全や魅力向上を図りながら安全安心な施設として維持していきます。

■第１期統廃合対象施設

・第1期統廃合対象施設の「鬼無里、信州新町、芹田、茶臼山」は、2019年度は営業を行いますが（芹田は休止）、2020年度から廃止となります。

■第2期統廃合対象施設

・当面は存続しますが、段階的な統廃合に向けて時期等を検討します。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度以降
存続施設	営　業			
第1期統廃合対象施設	営　業		廃　止	
第2期統廃合対象施設	営　業		営業及び状況を見て統廃合検討	

4 パブリックコメントの結果

１　意見提出者　７名（持参１名、電子メール等6名）

２　意見等件数　１７件

３　計画に対する意見・提案への対応

対応区分	集計結果	件数
１	計画を修正する	０
２	計画に盛り込まれており、修正しない	１
３	計画は修正しないが、今後の取組みにおいて、検討または参考とする	２
４	検討の結果、計画には反映しない	１
５	その他（意見に対する現状説明等）	１３

5 主な意見と市の考え方

No.	いただいた主なご意見・ご提案	長野市の考え方	対応区分
1	市内を３つのブロックに分ける方針とのこと。ブロックは広範囲であり、ここに１つのプールとするとのことだが、利用しにくい環境となるのではないか。 児童の水難対策として整備されてきた一面があることからも安易な方向に向かっているのではないか。	アクセスや利便性の観点から市内を３つのエリアに分けて、市内に屋内プールと屋外プールがバランスよく配置されるよう考慮しました。 水難対策については、小中学校の授業において、水難事故防止に関する取組を実施しています。 なお、屋外市民プールについては、近年、レジャー目的での利用が多い状況です。	5
2	夏休みにおける小学校のプールは、児童を引率して歩くことによる熱中症の心配から利用に反対する保護者もいる。自宅近くに利用できるプールが必要なため、現在のプールを存続してほしい。	熱中症の問題につきましては、屋外市民プールも学校プールと同様です。 市民プールは、地域施設ではなく、広域的な施設となります。安心・安全なプールの維持のため、全てのプールを維持することは困難であり、アクセスや利便性の観点から市内を３つのエリアに分けて、市内に屋内プールと屋外プールがバランスよく配置されるよう考慮しました。	5
3	現在のプールを存続した上で、利用しやすい環境を維持してほしい。その際、現在の50mプールではなく、経費の削減を考え、25mプールにし、幼児用プールも改修してほしい。	利用者が大きく減少している上に、少子化や人口減少により更なる減少が見込まれます。今後は、将来世代に負担を先送りすることなく、老朽化が進む市民プールについて集約化を図っていくこととしました。 なお、25mプールへの改修については、多額の費用が発生し、利用者も減少していく中、困難な状況です。	5

5 主な意見と市の考え方

No.	いただいた主なご意見・ご提案	長野市の考え方	対応区分
4	日焼けによる身体に及ぼす影響等、昔と違い黒くなる事について賛同する声はないが、健康のためにはプールも必要なため、数か所統合することはできないか。	市内を３つのエリアに分け、それぞれのエリア内で屋外プールの統廃合を行い、最終的には各エリアに屋内プール1つ、屋外プール1つを存続します。	2
5	城山動物園も少年科学センターも市内外の子ども達が利用しており、創造力の芽をつむべきではない。	城山動物園や少年科学センターは、本計画の検討対象外です。これらを含め城山公園の再整備方針を検討しており、その結果に基づき判断してまいります。	5
6	北部と城山のどちらかを存続させる件について、城山は、改修費用が大幅に見込まれているが、多くの利用者がいることや、城山動物園等の一体利用が可能なため、同プールの存続を希望する。 北部に関しては、子ども用プールが無いことなどから、アクアウィング等の近隣プールに利用者が流出している。	北部と城山市民プールは、城山公園の再整備方針によって、どちらかを存続するとしております。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。	3
7	北部と城山どちらかを廃止としているが、サンマリーンながのが出来たことにより、どちらもそれほど需要はないと思われる。城山は行くたびに閑散とし、年に２ヶ月弱の開場では到底コストに見合わない。 同地域は、城山動物園や少年科学センターがあり、駐車場不足が課題となっているため、プールを駐車場に変更すれば解消される。 動物園は、目玉となる動物が必要	No.６に同じ。	3

5 主な意見と市の考え方

No.	いただいた主なご意見・ご提案	長野市の考え方	対応区分
8	プールの廃止には反対。全て残すべき。	利用者が大きく減少している上に、少子化や人口減少により更なる減少が見込まれます。今後は、将来世代に負担を先送りすることなく、老朽化が進む市民プールについて集約化を図っていくこととしました。	5
9	利用者の意見を聞くべき。	利用されている方からは、「残してほしい」という要望があることは理解しております。 一方で、「需要に合わせて予算を適正に配分できているのか」という、利用していない方の意見も大切であると考えます。そのため、市民全体から意見を伺う方法としました。	5
10	以前に行われた利用者アンケートでは、子どもを遊ばせるため等の子育ての理由が多く、このアンケート結果を市民に公開し、全利用者の意見募集を行って検討し直すべき。	平成28年に行ったアンケート結果は、長野市公共施設適正化検討委員会の会議資料として、本市ホームページで公開しています。 利用されている方からは、「残してほしい」との要望があることは理解しておりますが、一方、利用していない方の意見も大切と考え、市民全体から意見を伺う方法としました。	5
11	北部市民プールは、養護学校や保育園等が利用しており、廃止には反対。改修して使いやすくするべき。	利用者が大きく減少している上に、少子化や人口減少により更なる減少が見込まれます。今後は、将来世代に負担を先送りすることなく、老朽化が進む市民プールについて集約化を図っていくこととしました。 北部市民プールは、現在検討している城山公園全体の再整備方針によって、第２期統廃合施設として、城山と北部のどちらかを存続します。	5

5 主な意見と市の考え方

No.	いただいた主なご意見・ご提案	長野市の考え方	対応区分
12	城山市民プールは、市全域の憩いの場となっている。廃止には反対。	利用者が大きく減少している上に、少子化や人口減少により更なる減少が見込まれます。今後は、将来世代に負担を先送りすることなく、老朽化が進む市民プールについて集約化を図っていくこととしました。 現在、城山動物園や少年科学センターを含め城山公園の再整備方針を検討しており、その結果に基づき城山と北部のどちらかを存続します。	5
13	サンマリーンながのは利用料金が高すぎる。他のプールと同料金にすべき。	レジャー性の高い施設であることから、施設の維持管理にかかる費用は一定程度を利用者の方にご負担をお願いすることを基本としています。 料金については、今後、運営状況を検証し、検討してまいります。	5
14	少子高齢化を克服して、地域の活性化を図っていくためには、使いやすいプールとしていくことが求められており、プールの廃止には反対。	利用者が大きく減少している上に、少子化や人口減少により更なる減少が見込まれます。今後は、将来世代に負担を先送りすることなく、老朽化が進む市民プールについて集約化を図っていくこととしました。 存続するプールは、魅力向上を図るとともに安心・安全なプールの維持に努めます。	5
15	オリンピックで使った施設の費用を国に出してもらうよう要求し、維持管理費を捻出してほしい。	オリンピック施設は、市有施設であり維持管理を市が負担することを大会招致時に定められています。また、オリンピックで使用したアクアウィング等は、多くの市民の方が利用しています。	5

5 主な意見と市の考え方

No.	いただいた主なご意見・ご提案	長野市の考え方	対応区分
16	犀南市民プールの近くに住んでいるが、子どもが自分達で行ける距離に安い料金で入れるプールがあるのは水に親しむ大切な場所。 小学校では２学期のプールが無くなり、子ども達が泳ぐ練習はどこですればいいのか。子ども達が移動できる範囲でプールに親しめる環境を希望する。 茶臼山、犀南、青垣で1つとは大人の考え。	利用者が大幅に減少する中、安心・安全なプールの維持のため、全てのプールを維持することは困難であり、アクセスや利便性の観点から市内を３つのエリアに分けて、市内に屋内プールと屋外プールがバランスよく配置されるよう考慮しました。	5
17	身近な小・中学校のプールを学生だけでなく市民に開放できれば良いと思う。運営を委託すれば学校に負担はない。	不特定多数の方が利用することになるため、防犯対策が必要になることや更衣室、ロッカー、駐車場等の増設も必要となります。また、運営を委託する場合、市民プールと同様に監視員等の経費が必要になります。	4

施設概要調書　　施設名：飯綱高原観光施設　　担当課：観光振興課

1 飯綱高原スキー場

(1) 施設のあらまし

事項		説明
所在地		長野市大字富田１番地１
経営形態		昭和40年　長野市直営 昭和45年４月１日　管理運営を(一社)長野市開発公社に委託 平成18年４月１日　指定管理者制度に移行し、(一社)長野市開発公社による管理運営
開設時期		昭和40年12月
開発対象面積		109.74ha　内　国有地92.02ha 市有地16.52ha 民有地 1.20ha
施設概要	コース数	10コース(コース総延長 4,500m)
	ゲレンデ標高	1,480m～1,080m
	リフト	第１クワッドリフト　延長933m（平成６年度建設） 第２ペアリフト　延長296m（昭和61年度建設） 第３ペアリフト　延長557m（昭和59年度建設） 第４リフト(ペア)　延長375m（平成８年度建設） 第５リフト(ペア)　延長711m（平成８年度建設） 第６リフト　延長461m（昭和56年度建設）　（休止） 第７トリプルリフト　延長374m（平成元年度建設）　（休止）
	ナイター施設	Ｅコース(コース延長 600m)
	人工降雪設備	降雪範囲　Ｈコース及びフリースタイルスキーコース 設置　平成元年　ガンタイプ13台（建設費207,770千円）
	駐車場	３箇所　１，０２０台
開発規制等	自然公園法	妙高戸隠連山国立公園特別地域
	森林法	水源かん養保安林
利用料		（単位：円）

区分	一般	中学生以下	シニア(50歳以上)	備考
１回券	260	190	210	
回数券	2,600	1,900	2,100	11回
４時間券	2,200	1,700	1,900	
１５時間券	7,400	5,900	6,800	
３０時間券	14,700	11,700	13,500	
１日券	3,100	2,100	2,300	
２日券	5,200	3,600	3,900	
３日券	6,700	4,700	5,200	
シーズン券	30,900	20,600	22,700	
キッズパーク券	500	500	500	
ナイターゲレンデ貸切	51,500			30人以上で要予約

(2) 利用状況等

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
入込者数(人)	59,033	18,777	31,224	39,216	29,092
リフト利用料収入(円)	67,522,580	21,488,980	34,174,140	43,499,310	31,849,850
管理運営委託料(円)	96,010,000	104,922,000	73,962,594	57,060,292	96,717,130

※ リフト利用料収入は（一社）長野市開発公社の収入、管理運営委託料は指定管理料

２ 長野市飯綱高原屋外市民ホール（ハイランドホール飯綱）

(1) 施設のあらまし

<table>
<tr><th>事　　項</th><th>説　　明</th></tr>
<tr><td>所　在　地</td><td>長野市大字上ケ屋２４７１番地１５８４</td></tr>
<tr><td>経営形態</td><td>平成元年４月１日から、管理運営を(一社)長野市開発公社に委託
平成18年４月１日から、指定管理者(一社)長野市開発公社による管理運営</td></tr>
<tr><td>開設時期</td><td>平成元年４月１日</td></tr>
<tr><td>構造等</td><td>鉄骨２階一部平屋建　延床面積1,190.34㎡　建設費　271,764千円
１階　ステージ、管理事務所等
２階　休憩所等　　屋外　観覧席3,000人芝張</td></tr>
<tr><td>利用料</td><td>（単位：円）
<table>
<tr><th colspan="2">区　分</th><th>入場料等
徴収なし</th><th>入場料等
徴収あり</th></tr>
<tr><td>午前</td><td>9:00～12:00</td><td>1,850</td><td>5,550</td></tr>
<tr><td>午後</td><td>12:00～17:00</td><td>3,080</td><td>9,250</td></tr>
<tr><td>夜間</td><td>17:00～21:00</td><td>4,930</td><td>14,810</td></tr>
<tr><td>昼間</td><td>9:00～17:00</td><td>4,110</td><td>12,540</td></tr>
<tr><td>昼夜</td><td>12:00～21:00</td><td>6,780</td><td>20,360</td></tr>
<tr><td>全日</td><td>9:00～21:00</td><td>8,330</td><td>25,090</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

(2) 利用状況等（ホール）

年　度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用回数(回)	17	19	8	7	12
利用料収入(円)	74,210	92,550	65,630	27,440	75,900

３ 小天狗（こてんぐ）の森フィールドアスレチック

(1) 施設のあらまし

事　　項	説　　明
所　在　地	長野市大字上ケ屋２４７１番地６０８
経営形態	管理運営を(一社)長野市開発公社に委託 平成18年４月１日から、指定管理者(一社)長野市開発公社による管理運営
開設時期	昭和53年８月６日
施設概要等	遊　具　33ポイント（延長700m） 建設費　11,401千円 開設期間　４月～11月
使用料	無料

(2) 利用状況等

年　度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数(人)	16,270	23,140	20,163	26,560	27,760

４ 飯綱高原キャンプ場

(1) 施設のあらまし

事　　項	説　　明
所　　在　　地	長野市大字上ケ屋２４７１番地６０８
経　営　形　態	管理運営を(一社)長野市開発公社に委託 平成18年４月１日から、指定管理者(一社)長野市開発公社による管理運営
開　設　時　期	昭和31年７月５日
施　設　概　要　等	ログキャビン12棟、バンガロー５棟、貸テント38張、炊事場３箇所 公衆トイレ新設（H15） 旅館業許可 昭和36年７月27日付け長野保健所指令36長保環第1-4号
利　用　料	

項　目	一般料金（円）	備　考
貸しテント	3,000	
持込テント	1,000～	タープ別途500円
バンガロー	4,000	
ログキャビン	8,000	市民利用7,000円
施設使用料	100	水道・炊事場使用料

(2) 利用状況等

年　度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数(人)	6,278	7,760	6,901	7,191	8,559
利用料収入(円)	2,793,700	3,733,800	3,152,200	3,616,300	3,868,800

５ 飯綱高原ボート場

(1) 施設のあらまし

事　　項	説　　明
所　　在　　地	長野市大字上ケ屋２４７３番地 （大座法師池は、浅河原土地改良区から借地）
経　営　形　態	管理運営を(一社)長野市開発公社に委託 （平成14年８月13日～　飯綱高原キャンプ場の附帯施設として） 平成18年４月１日から、指定管理者(一社)長野市開発公社による管理運営
開　設　時　期	昭和41年７月１日（(一社)長野市開発公社の直営として）
施　設　概　要　等	普通ボート９槽、ペダルボート６槽、救助艇１隻、管理事務所
利　用　料	

１　槽		料　金（円）
手漕ぎボート	30分	500
	延長(10分毎)	200
ペダルボート（３人乗り）	30分	1,000
	延長(10分毎)	400
ペダルボート（４人乗り）	30分	1,500
	延長(10分毎)	500

(2) 利用状況等

年　度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数(槽)	1,755	2,255	1,532	2,047	1,691
利用者数(人)	5,265	7,096	4,952	7,040	5,484
利用料収入(円)	1,686,300	2,165,500	1,444,400	2,068,200	1,612,000

６ 飯綱高原運動広場

(1) 施設のあらまし

事	項	説	明
南グラウンド	所在地	長野市大字上ケ屋２４７２番地	
	開設時期	昭和60年４月１日	
	仕様等	（～平成20年３月31日） 120m×100m＝12,000㎡工事費中央グラウンドに含む。 (平成20年７月25日～　全面芝生化工事) 16,270㎡　　工事費62,790,000円	
東第一グラウンド	所在地	長野市門沢３７４５番地１６８	
	開設時期	平成４年４月１日	
	仕様等	96.67m×52.83m＝5,107㎡　　工事費24,267千円	
東第二グラウンド	所在地	長野市門沢３７４５番地１６４	
	開設時期	平成４年11月10日	
	仕様等	109.73m×48.77m＝5,352㎡　　工事費29,561千円	
東第三グラウンド	所在地	長野市門沢３７４５番地１６２	
	開設時期	平成６年４月１日	
	仕様等	109.73m×48.83m＝5,358㎡　　工事費63,036千円	
テニスコート	所在地	長野市大字上ケ屋２４７１番地７９	
	開設時期	平成４年10月１日	
	仕様等	全天候型テニスコート７面　　工事費80,794千円	
共通	経営形態	管理運営を（一社）飯綱高原観光協会に委託 平成18年４月１日から、指定管理者(一社)長野市開発公社による管理運営	

利用料

（単位：円）

		午前 8:00～12:00	午後 12:00～17:00	全日 8:00～17:00
東グラウンド		5,400	6,480	10,800
南グラウンド	片面	8,220	10,280	13,880
	両面	16,450	20,570	27,770

※ 南グラウンドは平成20年7月25日から施行　　（単位：円）

		１時間 6:00～19:00	全日 8:00～17:00
テニスコート	平日	620	4,630
	土・日・祝日	830	6,170

(2) 利用状況等

年	度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
グラウンド	利用団体数	79	58	69	106	40
	利用者数（人）	1,829	2,110	2,195	3,104	1,229
	利用料収入（円）	726,120	688,380	802,160	1,151,750	466,320
テニスコート	利用者数（人）	1,951	1,912	1,912	1,625	1,162
	利用料収入（円）	454,790	530,920	478,230	404,500	328,790

※テニスコートは、平成22年度からコート面不良のため利用料金を減免し営業している。

7 アゼィリア飯綱

(1) 施設のあらまし

<table>
<tr><th>事　　項</th><th>説　　明</th></tr>
<tr><td>所　在　地</td><td>長野市大字上ヶ屋２４７１番地１７，７９，５５７，２７５０，２７５１</td></tr>
<tr><td>経　営　形　態</td><td>管理運営を(一社)長野市開発公社に委託</td></tr>
<tr><td>開　設　時　期</td><td>昭和53年８月３日　旧雇用促進事業団・県・市（観光課）の三者間で設置に関する覚書を締結
昭和55年６月15日　旧雇用促進事業団の費用負担により建設
昭和55年７月19日　(一社)長野市開発公社に委託し、供用開始
（この間、旧雇用促進事業団の費用負担により、施設の増改築を数回実施）
平成11年４月１日　労政課へ所管換
平成15年１月31日　県から運営(再)委託契約の解除通知
(一社)長野市開発公社と運営委託契約書の効力に関する覚書締結
平成15年３月27日　雇用・能力開発機構と売買契約締結
平成15年４月１日　登記完了、労政課から所管換</td></tr>
<tr><td>施　設　概　要　等</td><td>敷地面積　50,592.61㎡
本館　鉄筋コンクリート造　地上３階地下１階建
延床面積 4,846.13㎡　収容人員(宿泊)　139人
客室31、食堂、大広間(90畳)、中和室(17.5畳)、会議室３
体育館、テニスコート(４面)</td></tr>
<tr><td>利　用　料</td><td>
<table>
<tr><th colspan="2">区　分</th><th>料金（円）</th></tr>
<tr><td rowspan="2">宿泊
（１泊２食付サ税込）</td><td>大人(中学生以上)</td><td>8,532　～</td></tr>
<tr><td>小人(小学生以下)</td><td>7,257　～</td></tr>
<tr><td rowspan="3">入浴
(税込み)</td><td>大人(中学生以上)</td><td>500</td></tr>
<tr><td>小人(小学生以下)</td><td>300</td></tr>
<tr><td>3歳以上小学生未満</td><td>100</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

(2) 利用状況等

年　度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
宿泊者数(人)	14,554	15,991	14,816	13,372	13,748
休憩利用者(人)	15,641	20,301	18,282	17,655	17,646
営業収入(円)	85,357,388	97,756,816	93,098,118	82,403,073	87,631,431
利益金(円)	(△33,988,000)	(△28,847,167)	(△36,623,519)	(△42,811,155)	(△36,792,065)
宿泊稼働率(%)	28.7	31.5	29.2	26.4	27.0
施設利用率(%)	36.4	41.5	38.2	35.1	35.8

注１　宿泊稼働率＝{宿泊利用者数／（営業日数×収容人員）}×100
　２　施設利用率＝{（宿泊利用者数＋修正宿泊者数）／（営業日数×収容人員）}×100
　　（修正宿泊者数とは、休憩利用者数／４をいう。）

飯綱高原観光施設に関する
サウンディング型市場調査の結果について

長野市商工観光部観光振興課

1　飯綱高原の概要とサウンディング型市場調査に至る背景

・飯綱高原は、長野市の北西部、標高1,000mに位置し、飯綱高原スキー場や飯綱高原キャンプ場等様々な観光施設の整備が進められ、長野市民の憩いの場として機能してきた。

・しかし、近年ではスキー人口の減少や温暖化による雪不足の影響を受け、飯綱高原スキー場の経営は、大変厳しい状況にあることから、グリーンシーズンの誘客を強化し飯綱高原の新たな観光戦略を展開できるよう、市場の動向や事業アイディアを把握するため、サウンディング調査を実施するもの。

2　飯綱高原観光施設の今後のあり方・方針

■事業スキーム

ウィンターシーズンの財政負担軽減

方針1

スキー場施設の譲渡等
により民営化
※譲渡困難な場合は廃止

【背景】
・スキー人口の減少
・温暖化による雪不足

グリーンシーズンの強化

方針2
「(仮称)山の駅 飯綱高原」の整備

方針3
既存観光施設のリニューアル

方針4
優れた地域資源の保全と活用

①スキー場は、市営から事業譲渡による民間運営へ
・市は、民間に索道施設を譲渡（完全民営化）
・譲渡先が無い場合は、スキー場を閉鎖
・平成30年度中に「民営化」か「閉鎖」を決定
・市営による運営は、2019年度シーズンまで
・閉鎖の場合、原則として国有林野として返還

②「(仮称)山の駅　飯綱高原」を新たに整備
・地元農林産物の直売所や飲食店、公衆トイレ等
・移住定住情報の提供施設他
・観光誘客と地域振興につながる拠点
・整備完了予定は、2021年3月（2021年4月オープン目標）

③既存観光施設の計画的なリニューアル
・飯綱高原キャンプ場
（湖上ステージ改修、オートキャンプエリア整備　他）
・小天狗の森（老朽遊具の改修　他）
・飯綱高原運動広場
（ｼﾞｭﾆｱ用ｻｯｶｰｺﾞｰﾙ設置、ﾈｯﾄﾌｪﾝｽ設置　他）

④優れた地域資源（観光資源）の保全と活用
・大座法師池（景観保全、コカナダモ等水草除去　他）
・大谷地湿原（ﾘｭｳｷﾝｶ等の再生保全、遊歩道維持
修繕 他）
・飯縄山（登山道の補修整備、ロングトレイル整備　他）
・一の鳥居苑地（大座法師池周辺との回遊性確保 他）

3　サウンディング型市場調査対象事業の個別スケジュール

対象施設／年度	2018（H30）	2019	2020	2021
①飯綱高原スキー場	市営スキー場としての運営期間	譲渡先公募 事業者との引継	民間事業者による運営	
②（仮称）山の駅 飯綱高原	ｻｳﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ	ﾌﾟﾛﾎﾟｰｻﾞﾙ要件定義 提案受付	設計＋建設工事	営業開始
③既存施設のﾘﾆｭｰｱﾙ	期間	○湖上ﾊﾞｰﾍﾞｷｭｰﾃﾗｽ兼用ｽﾃｰｼﾞ設計（H30）⇒　設置（H31） ○小天狗の森老朽遊具改修	○ｵｰﾄｷｬﾝﾌﾟｴﾘｱ整備 ○運動広場・ﾈｯﾄﾌｪﾝｽ設置	
④地域資源の保全と活用		○大座法師池の景観保全 ○大谷地湿原のﾘｭｳｷﾝｶ等再生、保全	○遊歩道の維持修繕 ○飯縄山登山道、一の鳥居苑地の維持、保全	

サウンディング型市場調査実施状況

（仮称）山の駅飯綱高原の整備・運営に関すること及びスキー場を含む既存の飯綱高原観光施設全体の活用策について、下記のとおり調査を実施した。

事前説明会

開 催 日：平成30年８月17日（金）
場　　所：飯綱高原ハイランドホール
実施状況：13団体出席 （申込14団体）

対　　話

期　　間 ： 平成30年９月10日～平成30年10月５日

参加団体 ： ７団体

対話状況 ：	飯綱高原スキー場の運営に関する意見・提案	４団体
	（仮称）山の駅飯綱高原の整備・運営に関する意見・提案	２団体
	既存施設を活用したオールシーズンの観光戦略等の意見・提案	１団体

事業者との対話で得られた主な意見・提案

1 飯綱高原スキー場の運営に関する意見・提案

リフト及びコースの一部廃止による営業エリアの縮小に関すること

・緩斜面のゲレンデを活用し、初心者やキッズの利用に特化する等、ターゲット層を限定することによるスキー場のコンパクト化 （利用しないゲレンデの閉鎖、リフト撤去）

スキー場エリアのグリーンシーズン活用に関すること

・ゲレンデへのトレイルランニングコース設定によるスポーツメニューの充実

・ハイランドホールの野外ステージを活用したイベントの誘致

・屋外での動植物観察等、自然体験ツアーの実施

民間事業者への譲渡にあたって想定される課題

・譲渡後廃止となった場合の国有林野への原状復旧費（施設撤去費や植栽費）

・施設修繕を十分に行ったうえでの民間事業者への譲渡

2 -① （仮称） 山の駅 飯綱高原の整備・運営に関する意見・提案

施設コンセプトに関すること

・市街地からの至近性を活かした普段使いの憩いの場、日常の延長にある高原

誘客ターゲット層に関すること

・ 長野市街地に居住する市民　子育てファミリー世帯

・ 戸隠方面への観光客に加え、芋井及び戸隠地区に居住する市民

導入機能の提案に関すること

・ 地元農産物直売　・日用品（生鮮品除く）販売　・オーガニック商品販売

・ レストラン　・カフェ　・ 子育てスペース（授乳室、キッズプレイスペース）

・ 図書館　・ 自習室　・ 多目的ホール　・ 観光案内　・ 地域コミュニティセンター

・ 行政サービス（住民票、印鑑証明発行）　等

2 -②（仮称）山の駅 飯綱高原の整備・運営に関する意見・提案

既存施設・地域資源の活用に関すること

- 既存キャンプセンター等を施設に移設することによる機能集約
- 湖上ステージを活用した音楽会の定期開催、湖上カフェの運営
- 小天狗の森を利用した忍者体験メニューの提供、スラックライン等の新設
- 芝生広場を利用した、子ども達が裸足で歩く体験
- 地域の特産品を使用したオリジナル商品の開発と販売

地域人材の活用に関すること

- 地域の料理好きな主婦層のレストランでの雇用

3 既存施設を活用したオールシーズンの観光戦略等の意見・提案

既存宿泊施設の活用に関すること

- アゼィリア飯綱の施設リニューアルによる高付加価値化、宿泊ターゲット層の転換

飯綱高原観光交流拠点施設
（仮称）山の駅飯綱高原
整備イメージについて

長野市商工観光部観光振興課

事業の基本的な方向性

■「飯綱高原観光交流拠点施設（仮称）山の駅 飯綱高原」の整備にあたっては飯綱高原及び周辺地域の魅力を発信し、利用者が『目的地』として『訪れてみたい場所』とすることが重要。

■飯綱高原におけるグリーンシーズンの新たな産業と観光の拠点として整備する本施設は、飯綱高原観光施設活用検討会や、芋井地区住民自治協議会等における検討結果、サウンディング型市場調査の内容を踏まえ主に以下の４つの機能をイメージしている。

飯綱高原観光交流拠点施設
（仮称）山の駅 飯綱高原

- 地域・産業振興機能
- 地域コミュニティ機能
- 休憩機能
- 観光振興機能

地域経済の活性化

地域固有の他にはないコンテンツを楽しんでもらうことを通じ地域の価値の提供と新たな民間投資の誘発

・妙高戸隠連山国立公園　・飯縄山　・大谷地湿原
・飯綱高原キャンプ場　・小天狗の森　・フォレストアドベンチャーなど

地域コミュニティの活性化

訪問客と住民との交流による地域の活性化。地域の人も楽しめ、普段の生活の中で利用してもらえる施設

・登山　・トレッキングガイド　・総合観光案内　などの拠点
・郷土料理　・クラフト制作　・などの体験教室

コンセプトの考え方と主なターゲット層

コンセプトの考え方

■市街地からのアクセスの良さを活かし、飯綱高原らしい森と水のなかで“気軽”に自然を楽しめる、都市隣接型野遊びパーク

ターゲット層

市民

・気軽に自然に触れながら、「食」「遊」「買」を楽しめる
・子どもが自然に触れ、世代間や親どうしも交流できる
・地元野菜に触れ、食べることで食育につながる
・地域の自然環境や歴史風土を学ぶ場

アウトドア初心者

・戸隠高原のキャンプ場などとレリクリエーション施設が競合していることから、飯綱高原は、初心者やファミリー層などのビギナーが気軽に楽しめるエリアに位置付け
・キャンプ等に必要な物や地元の食材が購入できる

観光客

・トイレ、駐車場などの休憩施設の提供
・野菜等の特産品を活用した飲食施設や野菜直売所の利用による地域の活性化

交流

交流

交流

地域住民

・日用品販売により、地域住民やバードライン沿線住民の恒常的利用
・来訪者と地域住民の交流
・農業者にとっては、地元農産物等の出荷による交流促進と活性化
・観光ガイドを通じた交流など

既存観光施設との新たな連携

既存施設のリニューアル計画

番号	施設名称	リニューアル内容等
①	飯綱高原キャンプ場 及び小天狗の森	・大座法師池水上テラス設置 ・老朽遊具改修 ・バンガロー、フリーキャンプサイト整備
②	飯綱高原 運動広場 （東グラウンド及び 南グラウンド）	・ジュニア用サッカーゴール設置 ・芝生化 ・ネットフェンス設置
③	新たなアクティビティの 導入	・フォレストアドベンチャー ・ノルディックウォーキングコース

水上テラスイメージ

新施設と連携し、
相乗効果による
誘客増を目指す

地域資源の積極的な利活用

地域資源の保全活用計画

番号	地域資源	活動内容
①	大座法師池	・ビュースポットとして景観保全 ・コカナダモ等水草除去
②	大谷地湿原	・湿原植生（リュウキンカ等）の再生、保全 ・外来植物（キショウブ等）駆除 ・遊歩道の維持修繕
③	飯縄山登山道 一の鳥居苑地	・登山道補修整備 ・ロングトレイル整備 ・飯綱高原を美しくする会による植栽整備

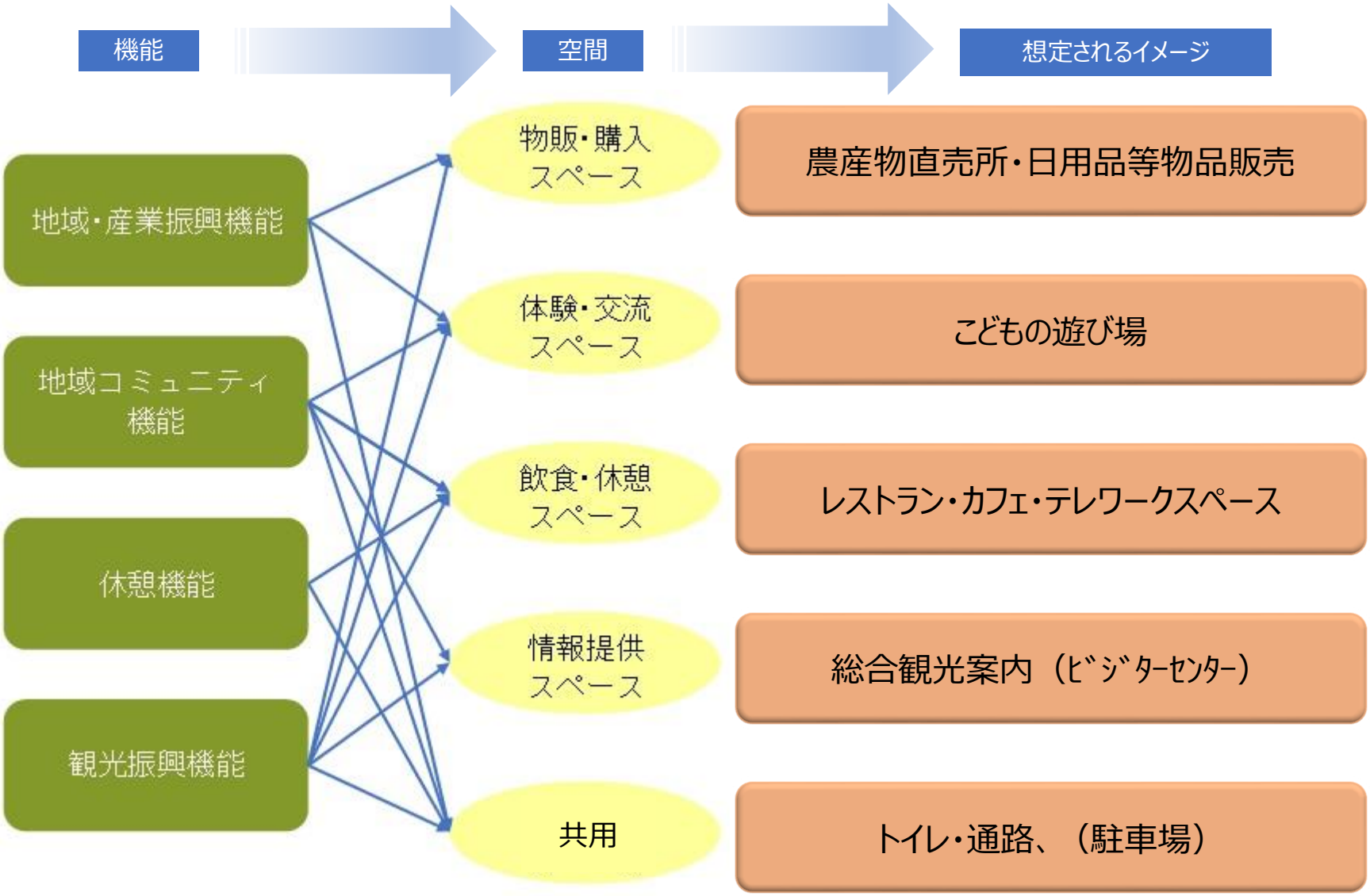
地域資源の魅力向上により、地域内の回遊性を高め、新施設をその拠点と位置付ける

大谷地湿原

大座法師池

一の鳥居苑地

山の駅施設整備イメージ



機能から求められる空間および想定される施設の例

地域・産業振興イメージ

地域・産業振興 ― 地域コミュニティ機能 ― 休憩機能 ― 観光振興機能

«想定される施設の例»

○農産物直売所　○施設利用者への物品販売店舗

整備にあたっての留意点

■地域の農業をはじめとする産業振興施設としての直売所（品揃えの確保）

■農産物等出荷組合を地元生産者が主体となり組織（品種、供給量）

など

直売所イメージ

屋外での展開イメージ

地域コミュニティイメージ

地域・産業振興機能 ― **地域コミュニティ機能** ― 休憩機能 ― 観光振興機能

«想定される施設の例»

○こどもの遊び場　○多目的スペース

整備にあたっての留意点

■年間を通じた集客の主軸スペースを想定（インドアアクティビティ）

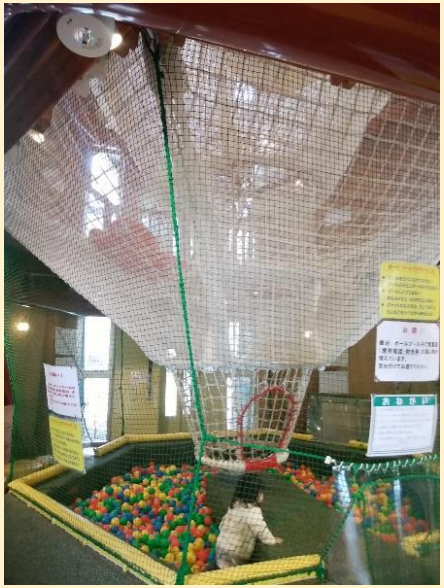
■大規模遊具の設置が可能な、十分な広さ高さを備えた室内空間

■全天候型施設（外とのつながり、悪天時の遊び場）

など

多目的スペースイメージ

こどもの遊び場イメージ



休憩イメージ-1

地域・産業振興機能 ― 地域コミュニティ機能 ― **休憩機能** ― 観光振興機能

«想定される施設の例»

○レストラン　○カフェ　○テレワークスペース

整備にあたっての留意点

■地域振興のため地元食材を活かしたメニューの提供

■窓越しに森林や木立ちの間から湖畔を望む、ゆったりとした空間

など

レストラン・カフェのイメージ

テレワークのイメージ

休憩イメージ-2

地域・産業振興機能 ― 地域コミュニティ機能 ― **休憩機能** ― 観光振興機能

«想定される施設の例»

○駐車場

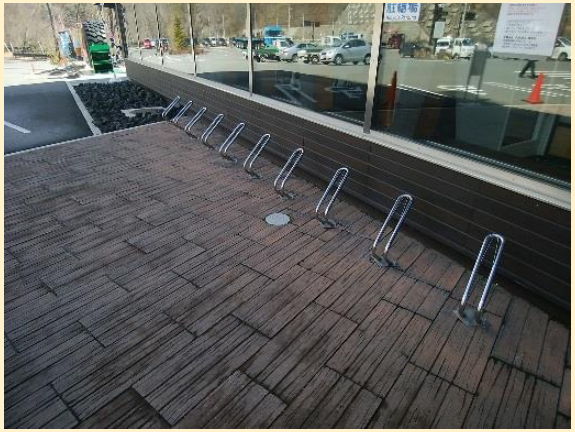
整備にあたっての留意点

■整備予定地に隣接する『飯綱高原第二駐車場』への駐車を想定

■既存施設と新施設の利用者動線に配慮した区画とする

■交通事故に配慮した車両出入口の配置、利用者動線を確保

など



サイクルスタンド（駐輪場）

EV充電施設

イメージ写真

EV充電・身障者施設（積雪地仕様）

休憩イメージ-3

地域・産業振興機能 ― 地域コミュニティ機能 ― **休憩機能** ― 観光振興機能

«想定される施設の例»

○トイレ

整備にあたっての留意点

■休憩施設としての役割を果たすトイレ

■子ども、高齢者、身障者など時代のニーズに即した機能充実

など

子どもコーナー

多目的トイレ

イメージ写真

父子トイレ

観光振興イメージ

地域・産業振興機能 ― 地域コミュニティ機能 ― 休憩機能 ― **観光振興機能**

«想定される施設の例»

○総合観光案内（ビジターセンター、レンタサイクル、地域住民によるガイド機能）

整備にあたっての留意点

■既存施設との連携・機能集約により、利用者のワンストップサービスを提供

■共用スペースとして４つの機能を結ぶ通路を設ける　　など

観光案内機能

レンタサイクル

イメージ写真

ガイドイベント

施設の整備イメージ

地域・産業振興機能 ― 地域コミュニティ機能 ― 休憩機能 ― 観光振興機能

整備にあたっての留意点

■ 各機能を融合させる施設

■ 景観と調和した、地域のランドマークとなる施設

■ 水上テラスやキャンプ場などの周辺施設と連携した施設　など

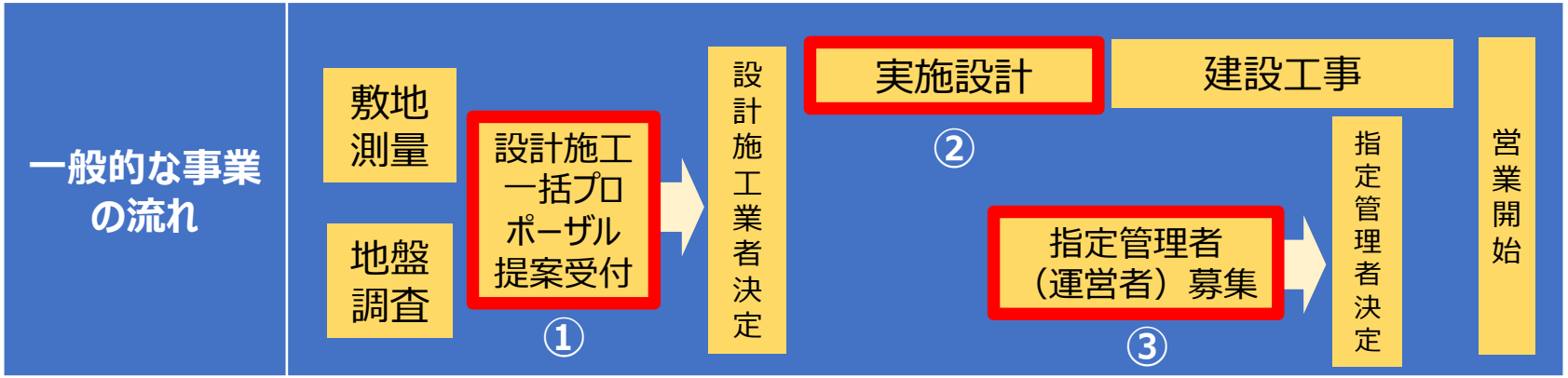
森林景観に配慮したイメージ

施設の位置図（案）

図：施設の位置図（案）

スケジュール

■魅力的で収益性が高い施設を目指すため、事業スキームについて慎重かつ充分な検討が必要⇒運営者の意向を設計に反映し、そのノウハウを活用し集客と収益を高めたい。



指定管理者のノウハウを設計に反映させるための仕組とスケジュールを検討中

■施設整備費

・財源の確保について、有利な補助金や起債が充てられるか調整中

市内の類似施設（道の駅等）の運営状況

区　分	道の駅信州新町	鬼無里　旅の駅		道の駅大岡	道の駅中条	
		ふるさと体験館(そば処鬼無里)	農林産物直売所(ちょっくら)		地域特産物販売施設	農林産物直売施設
主な施設	食堂、売店、直売場、トイレ、駐車場	食堂、売店、加工所、駐車場	直売場、トイレ	食堂、直売場、イレ、駐車場	食堂、売店、トイレ、駐車場	直売場、厨房、事務室
敷地面積	5,766㎡	3,062㎡	左記に含む	3,773㎡	4,491㎡	左記に含む
建築面積	639㎡	278㎡	286㎡	520㎡	655㎡	117㎡
整備費	約1億	約0.3億	約0.4億	約1.8億	約2.7億	約0.09億
開設時期	昭和63年	昭和63年	平成16年	平成2年	平成7年	平成7年
運営主体	㈱信州新町地場産業開発機構	㈲ふるさと鬼無里	地元生産団体ちょっくら	JAグリーン長野	アクティオ㈱	農事組合法人わんさか市
H29年度売上	約3億3,700万円	約3,300万円	約900万円	約8,000万円	約1億3,500万円	約4,600万円
H29年度利用者数	約38.3万人	約3.3万人	約1.4万人	約17.4万人	約16.0万人	約7.0万人
１人あたり消費額	約888円	約1,000円	約642円	約500円	約817円	約675円
H29年度運営主体収支	約96万円	▲約100万円	±0円(*1)	約99万円	▲約13,450千円(*2)	▲約5万円
H29年度指定管理料	0	0	0	86.4万円	0	0
H27年度昼12h交通量 長野県交通量調査(*3)	8,611台	1,792台		3,776台	4,093台	

*1　生産団体への聞き取りによる。生産者から商品価格の20%分の手数料を徴収し施設を運営。1,000万～1,100万円の売上で収支±0とのこと。
*2　本社経費 約650万円を支出した後の収支。他の道の駅は、本社経費の支出なし。
*3　平成27年度長野県交通量調査は、年間のうち交通量の変動がなくかつ年平均日交通量に近い交通量が観測されやすい秋季の平日に観測

施設概要調書

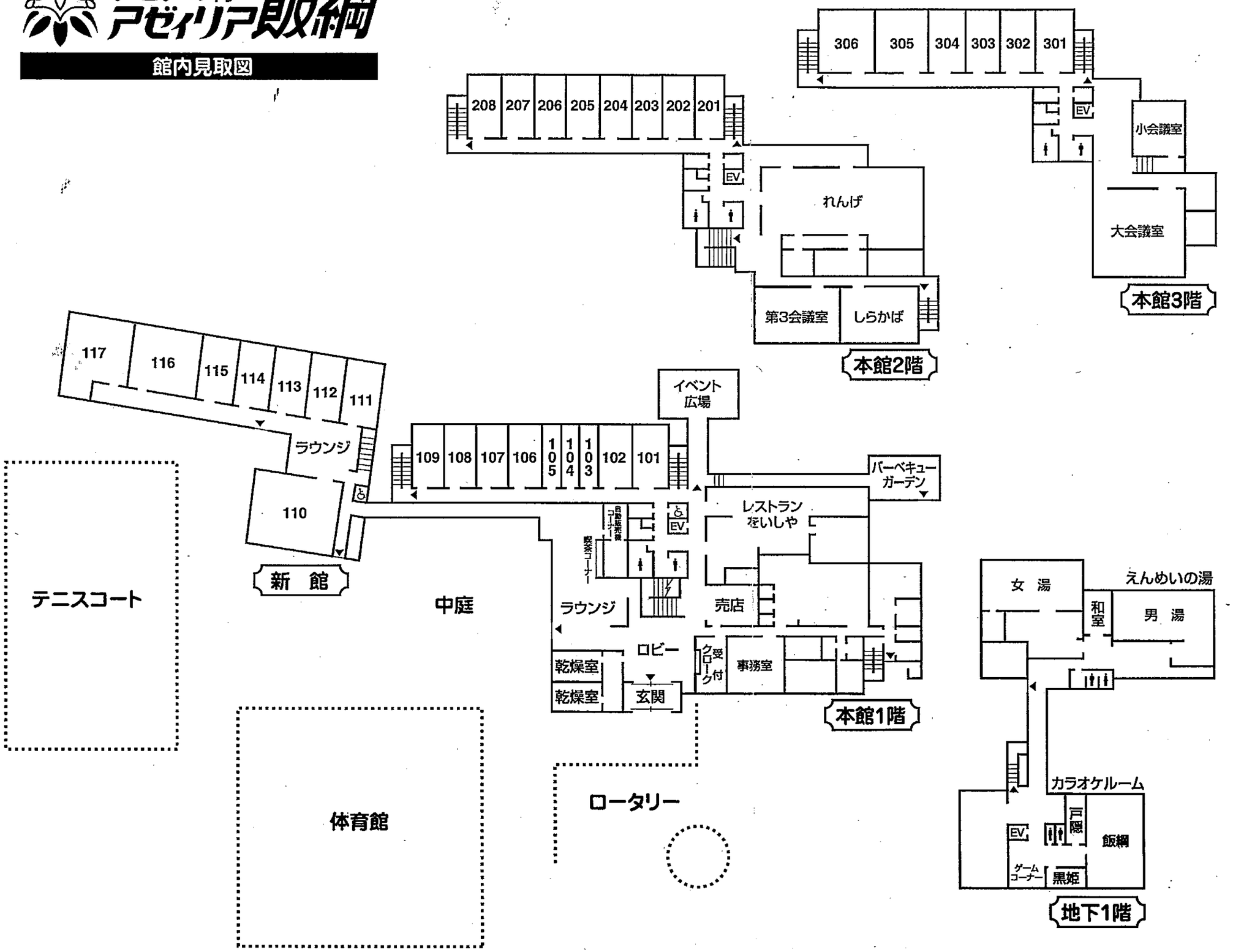
施設名：アゼィリア飯綱　　担当課：観光振興課

所　在　地	長野市上ケ屋2471－79				
開　　設	昭和55年7月				
施設概要	客室　31　　大広間（90畳）　1 食堂　1　　中和室（17.5畳）　1 会議室　3　　体育館　1				
指定管理者制度導入経過		公募・非公募	指定期間	指定管理者	
施設利用状況	利用区分等	利用実績			
		H27	H28	H29	H30
	客室（利用室数）	4,982室	4,744室	4,336室	4,603室
	客室（利用人数）	15,976人	14,816人	13,372人	13,748人
	食堂	7,700人	6,665人	6,261人	6,390人
	会議室	9,051人	5,840人	6,732人	6,640人
	大広間	5,495人	5,096人	4,599人	4,729人
	中和室	1,102人	1,022人	922人	948人
	体育館	5,463人	4,335人	4,407人	4,509人
設置目的、基本方針	・S55.6 雇用・能力開発機構（現在は廃止）が勤労者福祉施設として建設 ・H14 市労政課が機構から施設を取得、勤労者福祉施設としての用途廃止 ・H15.4 観光宿泊施設（普通財産）として観光課に所管換えし、市民及び観光客の保養と健康増進を図るための事業を実施している。 ・H20.12 部長会議において、長野市開発公社が運営から撤退する場合には、平成12年の閣議決定の趣旨に基づき廃止、売却等の方針を定めることを決定				
主な実施事業	・宿泊事業 ・貸館事業（会議室・体育館）				
現状と課題	・施設の管理運営は長野市開発公社に委託（委託料は無料）しており、市からの管理運営費の支出はない（ただし、年間100万円を上限として修繕費を支出）。 ・客室稼働率は35～40%前後で推移している。なお、平成30年度は35.8%となっている。 ・施設が老朽化しているため、今後のあり方について検討を行う必要がある。				
そ　の　他					

Azelea IIZUNA

いこいの村 アゼリア飯綱（いいづな）

館内見取図



EV…エレベーター　▲…非常口

	部屋番号	内容	定員	備考
本館1階	101	和室8畳 洗面トイレ付	4	
	102	和室8畳 洗面トイレ付	4	
	103	洋室ツイン バストイレ付	2	
	104	洋室ツイン バストイレ付	2	
	105	洋室ツイン バストイレ付	2	
	106	和室8畳 洗面トイレ付	4	
	107	和室8畳 洗面トイレ付	4	
	108	和室8畳 洗面トイレ付	4	
	109	和室8畳 洗面トイレ付	4	
新館1階	110	和室12畳十ツイン バストイレ付	8	
	111	和室10畳 洗面トイレ付	4	
	112	和室10畳 洗面トイレ付	4	
	113	和室10畳 洗面トイレ付	4	
	114	和室10畳 洗面トイレ付	4	
	115	和室10畳 洗面トイレ付	4	
	116	和室10畳十ツイン バストイレ付	7	
	117	和室12畳十ツイン バストイレ付	8	
本館2階	201	和室8畳 洗面トイレ付	4	
	202	和室8畳 洗面トイレ付	4	
	203	和室8畳 洗面トイレ付	4	
	204	和室8畳 洗面トイレ付	4	
	205	和室8畳 洗面トイレ付	4	
	206	和室8畳 洗面トイレ付	4	
	207	和室8畳 洗面トイレ付	4	
	208	和室8畳 洗面トイレ付	4	
	しらかば	和室17.5畳 洗面トイレ付	6	
本館3階	301	和室8畳 洗面トイレ付	4	
	302	和室8畳 洗面トイレ付	4	
	303	和室8畳 洗面トイレ付	4	
	304	和室8畳 洗面トイレ付	4	
	305	和室8畳十ツイン 洗面トイレ付	6	
	306	和室8畳十ツイン 洗面トイレ付	6	

施設概要調書

施設名：芹田総合市民センター　　担当課：地域･市民生活部 地域活動支援課
教育委員会 家庭･地域学びの課

<table>
<tr><td>所　在　地</td><td colspan="6">長野市若里2丁目8番18号</td></tr>
<tr><td>開　　設</td><td colspan="6">令和元年（2019年）　※ 令和元年６月　施設竣工予定
令和元年11月　解体･外構竣工予定</td></tr>
<tr><td>施設概要</td><td colspan="6">支所（地域活動支援課）、公民館（家庭・地域学びの課）の複合施設
・支　所：事務室、会議室　等
・公民館：多目的ホール、学習室１～３、和室、工芸室、料理教室</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指定管理者制度導入経過</td><td></td><td>公募・非公募</td><td colspan="2">指定期間</td><td colspan="2">指定管理者</td></tr>
<tr><td>公民館</td><td>非公募</td><td colspan="2">平成30年4月～令和3年3月</td><td colspan="2">芹田地区住民自治協議会</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">施設利用状況</td><td colspan="2" rowspan="2">利用区分等</td><td colspan="4">利用実績</td></tr>
<tr><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td></tr>
<tr><td colspan="2">支所</td><td>25,475</td><td>27,588</td><td>26,543</td><td>集計中</td></tr>
<tr><td colspan="2">公民館</td><td>56,103</td><td>52,088</td><td>44,758</td><td>26,053</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>設置目的、基本方針</td><td colspan="6">老朽化した現芹田公民館の建て替えにあわせ、芹田支所と複合施設として整備することによって、市民が安心して快適に施設を利用できるとともに、災害時の防災活動の拠点としての機能や生涯学習の活動拠点になるよう芹田地区のまちづくりの拠点として整備を進める。</td></tr>
<tr><td>主な実施事業</td><td colspan="6">【公民館】
定期講座、成人学校の開設、各種団体・機関等との連携、貸館　等

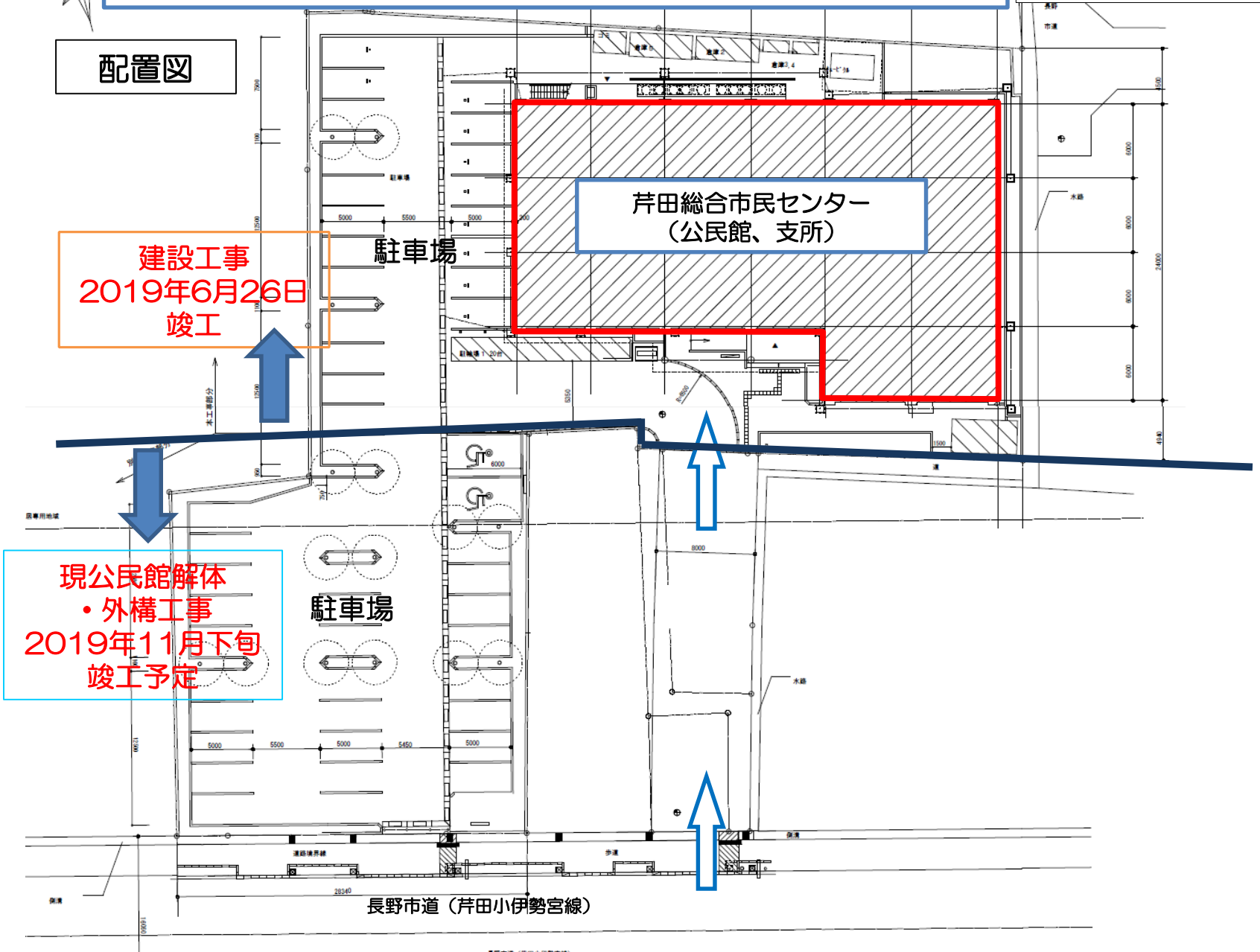
【支所】
支所業務　（市民担当、庶務担当）</td></tr>
<tr><td>現状と課題</td><td colspan="6">中心市街地に近く、地区内外からの利用者が多い。新施設建設に伴い、駐車台数が減少するが、利用者の減少にならないよう、中心市街地に近いという利便性を活かし、魅力ある講座の開設など利用者の増加につながる独自性のある事業を実施していく必要がある。</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td colspan="6">平成24年 3月　芹田地区住民自治協議会長、芹田総合市民センター期成同盟会長連名で、公民館の改築及び保健センターの整備について市長要望
平成27年10月　「活き生き芹田みんなでトーク」において、芹田公民館と芹田支所の総合市民センター方式での建設の要望
平成27年11月～平成29年5月　建設委員会において協議
平成30年 3月　建設工事開始　～令和元年11月まで
令和元年 7月　公民館　開所予定
令和元年12月　支所　開所予定</td></tr>
</table>

芦田総合市民センター建設について

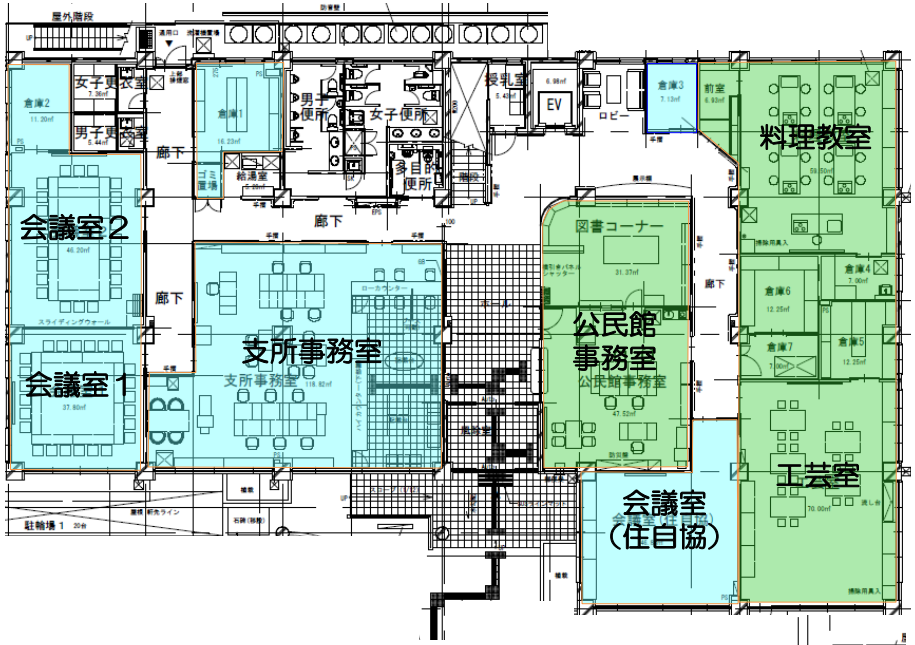
令和元年５月16日
長野市公共施設適正化検討委員会
現地視察　資料

1

配置図

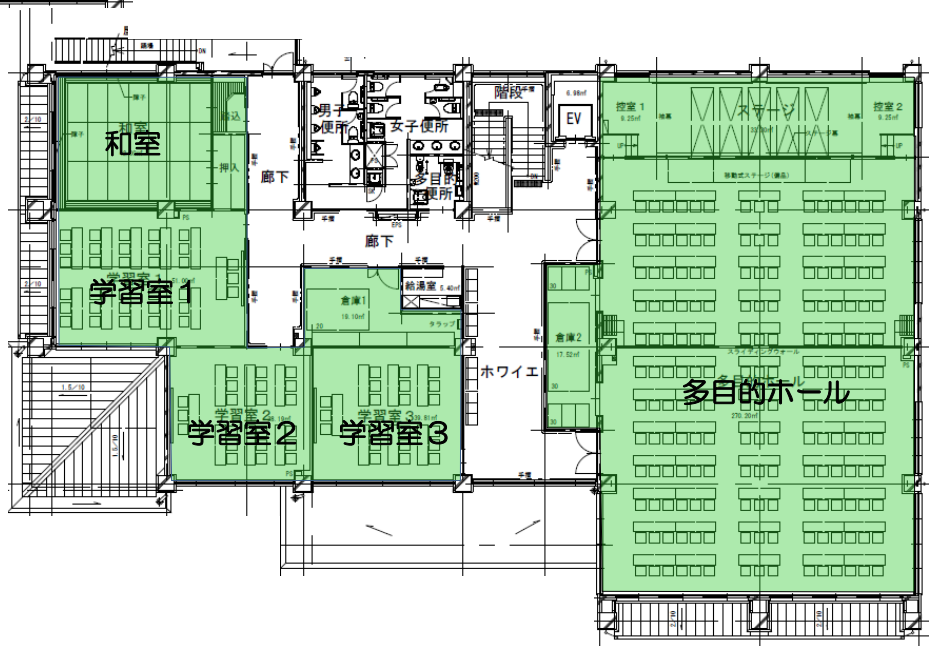


芦田総合市民センター　平面図



１階　平面図

公民館
支所



２階　平面図

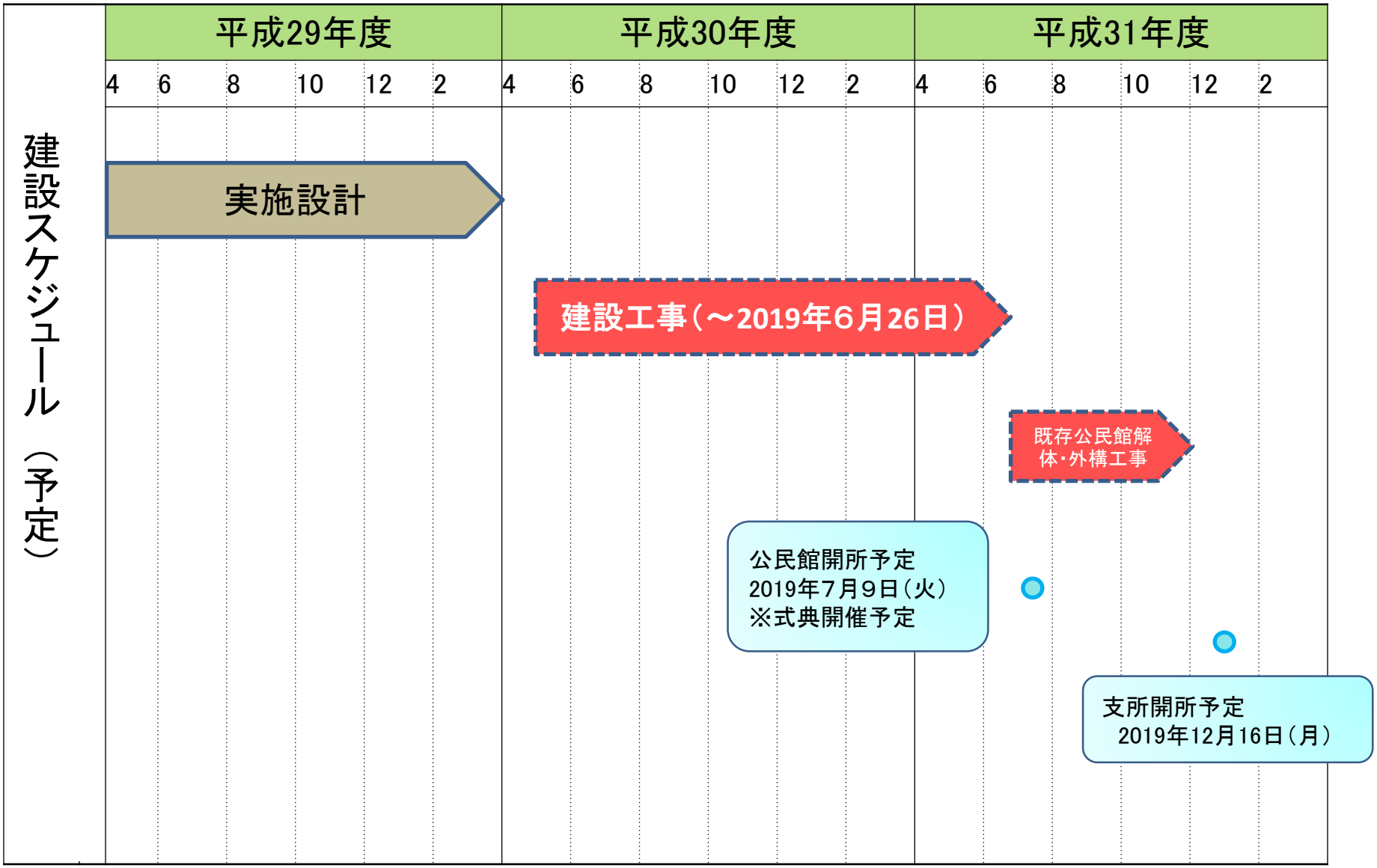
芹田総合市民センター施設概要

南側立面図

↑正面玄関

施設概要	複合施設	芹田公民館　　芹田支所
	施設構造等	鉄筋コンクリート造　２階建て
	延床面積	1,498.92㎡　（公民館:1,101.22㎡、支所:397.70㎡）
	主な室名	公民館：多目的ホール、学習室、和室、料理教室 工芸室、事務室　等 支　所：会議室（住自協室含む）、事務室　等

芦田総合市民センター建設スケジュール



施設概要調書

施設名: 篠ノ井中央公園　　担当課: 公園緑地課

<table>
<tr><td>所　在　地</td><td colspan="5">長野市篠ノ井会716番地</td></tr>
<tr><td>開　　設</td><td colspan="5">平成27年4月1日</td></tr>
<tr><td>施設概要</td><td colspan="5">・公園種別:地区公園
・開設面積:6ha
・主な施設:管理棟、トイレ(3カ所)、四阿、遊具広場、駐車場ほか</td></tr>
<tr><td rowspan="5">指定管理者制度導入経過</td><td></td><td>公募・非公募</td><td>指定期間</td><td colspan="2">指定管理者</td></tr>
<tr><td>第1期</td><td>非公募</td><td>平成28年4月～令和3年3月</td><td colspan="2">一財財団法人
ながの緑育協会</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">施設利用状況</td><td colspan="2" rowspan="2">利用区分等</td><td colspan="4">利用実績</td></tr>
<tr><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td></tr>
<tr><td colspan="2">篠ノ井中央公園</td><td>未集計</td><td>53,604人</td><td>64,817人</td><td>63,990人</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>設置目的、基本方針</td><td colspan="5">地域の身近な住区基幹公園(地区公園)として設置。
「長野市緑を豊かにする計画」では、緑育及び防災・レクリエーションの拠点として位置付けている。</td></tr>
<tr><td>主な実施事業</td><td colspan="5">「ながの緑育協会」主催により、以下の事業を実施している。
〇花と緑の講演会　(季節の薬用植物、バラと宿根草の庭づくり等)
〇講習会(松の剪定、農薬、バラの管理等)
〇展示会(秋の山野草展、シクラメン展、新春洋ラン展等)
〇園芸教室、緑育ワークショップ(ペイントデコ鉢と春の寄せ植え等)
〇ボランティアによる緑化活動(花壇づくり、花苗の定植、除草等)</td></tr>
<tr><td>現状と課題</td><td colspan="5">〇平成28年度から、「ながの緑育協会」を指定管理者として維持管理を委任し、緑育の拠点にふさわしい公園として高質空間を確保している。公園には人気の遊具施設(ふわふわドーム)があり、休日を中心に多くの親子連れで賑わっている。
〇利用者からのアンケート調査では、木陰や休憩スペース設置等の要望があり、来園者の更なる利便性向上が課題</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

篠ノ井中央公園

面積　６ha

芝生広場

ふれあい広場

緑の学習コーナー

多目的広場（ふわふわドーム）

篠ノ井中央公園便益施設（軽飲食店等）設置に関する サウンディング型市場調査の対話結果

令和元年５月 16 日
長野市都市整備部公園緑地課

１　調査の目的

篠ノ井中央公園では、緑との触れ合いを創出し、幅広い世代の人が集う休憩・休息の場を提供し、緑に対する意識の高揚を図るため、便益施設のあり方を検討しています。そこで、民間事業者の皆様と対話・意見交換を行い、施設の設置・管理に関する様々な可能性を調査・検討し、公募の参考にすることを目的としています。

２　事前説明会

開催日　：　平成 30 年 12 月 12 日
参加者　：　５者（７名）
内　容　：　サウンディング型市場調査の実施方法について
　　現場見学、意見交換

３　個別対話

期　　間　：　平成 31 年２月 19 日～平成 31 年２月 22 日
参　加　者　：　３者(リース・不動産関係、金融関係 、飲食店関係 各１者)
対 話 内 容　・便益施設自体の設置・運営、周囲の整備、管理及び運用について
　　・候補箇所以外の公園の維持管理、緑育への関与について
　　・土地の使用料について
　　・駐車場の併用について
　　・ドライブスルー等公園利用者以外をターゲットとした営業の要否
　　・その他の意見

設置候補箇所　**・候補地全体面積 1382.6 ㎡**

４　事業者との対話で得られた主な意見・提案

（１）　便益施設自体の設置・運営、周囲の整備、管理及び運用について

軽飲食店の種類について
・コンビニエンスストア
・公園併設型カフェ施設
・ドッグカフェ
・ベーカリーショップ、　レストラン等の店舗
・子ども服販売店とコラボした飲食店
コンセプト等
・敷地の中央に大きな木を植え、将来的には森の中に佇むレストラン（ピザ・パスタ等）にしたい。
・自然、ロケーションを大事にした環境の中で親子パン作り教室等、食育・学びの場にしたい。
・公園側にテラス・カフェスペースを整備して、公園利用者を呼び込む。
・国道側、公園側からも利用できるコンビニエンスストア
具体的な整備について
・小川や、水遊びができる水景施設を造りたい。
・候補地面積全てを活用して、スロープや枕木を並べた歩道を整備したい。
・フラワーガーデンを造りたい。
複数店舗設置の可能性
・複数店舗の設置は想定していないが、公園内の便益施設なので、花屋があれば効果的と思う。
・デベロッパー等が一括管理して異業種の店舗を配置する方法が良い。
・複数店舗となると、それぞれに駐車場が必要となる。

（２）候補箇所以外の公園の維持管理、緑育への関与について

公園の維持管理に協力できること
・水景施設の管理にかかわり、蛍の育成に協力したい。
緑育に協力できること
・花時計を造って、地域の子ども達や市民と花を育てたい。

（３）土地の使用料について

価格設定について
・出店の可能性は、売上額がどの程度見込めるかであるため、低価格ならありがたい。
・事業者の出店を促すには、土地の使用料は低価格の方が良い。

（４）駐車場の併用について

既存の公園駐車場以外に駐車場が必要か
・国道からの利用者が利用した場合には、既存の駐車場では足りない。
・公園利用者と便益施設利用者それぞれに専用駐車場があったほうが良い。

（５）ドライブスルー等公園利用者以外をターゲットとした営業の要否

ドライブスルーの必要性
・車の利用者が中心になってしまい、それでは意味がない。
・ドライブスルーの形態によるが、広範囲の面積が必要となるため、面積的に不可能

（６）その他の意見

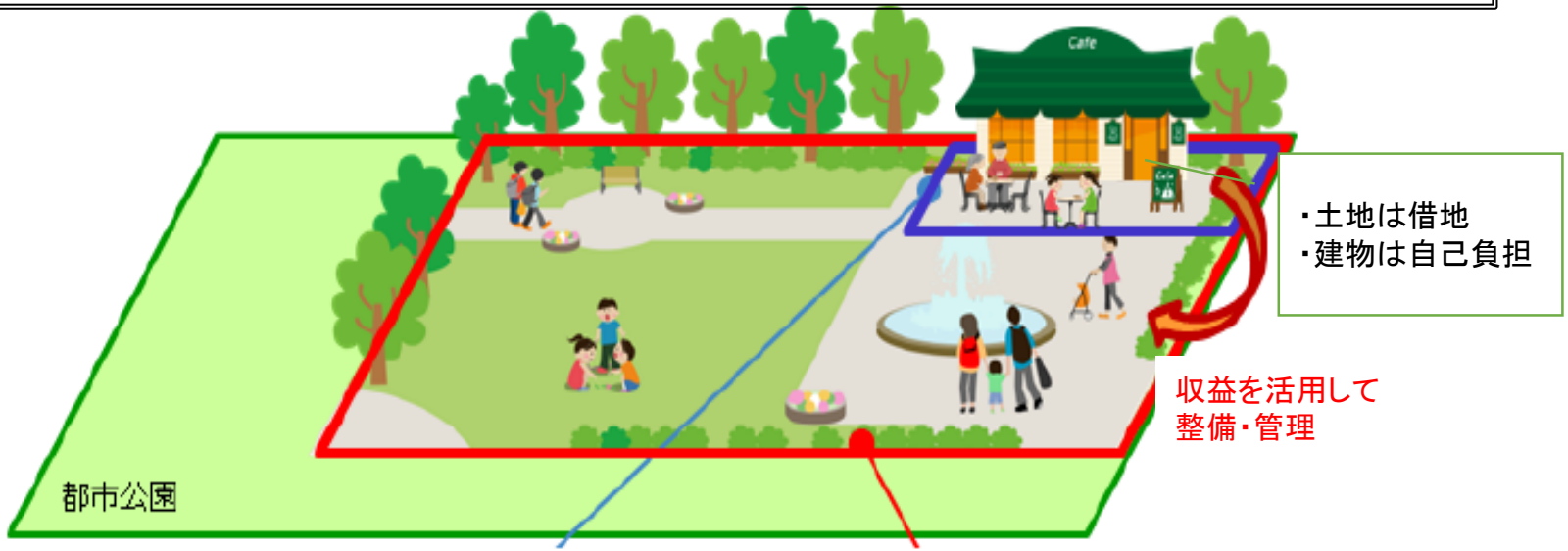
篠ノ井中央公園の市場性、注目度
・遊具（ふわふわドーム）を目的に遠方からの来客者が多い印象がある。
・広くてきれいな公園なので、レストランの経営に最適である。
・近隣で経営している姉妹店との協力体制が取れることから、場所的に良い。
・平日の来園者が少ないのが気になる。
・国道隣接のため交通アクセスは良い。

５　サウンディング型市場調査の結果を踏まえて

参加事業者から、様々な意見・提案をいただきました。
いただいた貴重なご意見・ご提案は、公募の参考にさせていただきます。

公募設置管理制度　Park-PFIとは

・都市公園法改正により創設（平成29年6月15日施行）
・飲食店等の公園施設の設置又は管理を行う民間事業者を公募により選定する手続き



民間が収益施設と公共部分を一体的に整備

	カフェ等の収益施設（公募対象公園施設）	広場、園路等の公共部分（特定公園施設）	
従前	民間資金	公的資金	
新制度	民間資金	収益を充当	公的資金

公募設置管理制度(Park-PFI)を活用することによるメリット

公園管理者のメリット

・公園整備、管理にかかる財政負担の軽減
・使用料の増

民間事業者のメリット

・長期的視野での投資、経営が可能
・設置する収益施設に合った広場等を一体的に整備できる

公園利用者のメリット

・飲食施設の充実など利用者向けサービスが充実し、公園の利便性、快適性が高まる

便益施設　設置イメージ

（環水公園・スターバックス）
※富山県営

（西南杜の湖畔公園・GREEN GATE）
※福岡市営

（青い森公園・セブンイレブン）
※青森県営

施設概要調書

施設名： 城山公園　　担当課： 公園緑地課

<table>
<tr><td>所　在　地</td><td colspan="6">長野市箱清水一丁目7番1号</td></tr>
<tr><td>開　　設</td><td colspan="6">明治33年5月10日</td></tr>
<tr><td>施設概要</td><td colspan="6">・公園種別：総合公園
・開設面積：13．5ヘクタール
・主な園内施設：〇信濃美術館　〇東山魁夷館　●噴水広場
●ふれあい広場　〇蔵春閣　〇少年科学センター
〇市民プール　〇テニスコート●城山動物園など
（●：公園緑地課の所管施設）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">指定管理者制度
導入経過
（ふれあい広場など）</td><td></td><td>公募・非公募</td><td colspan="2">指定期間</td><td colspan="2">指定管理者</td></tr>
<tr><td>第1期</td><td>公募</td><td colspan="2">平成18年4月～平成21年3月</td><td colspan="2">特定非営利活動法人
長野市環境緑化協力会</td></tr>
<tr><td>第2期</td><td>公募</td><td colspan="2">平成21年4月～平成24年3月</td><td colspan="2">特定非営利活動法人
長野市環境緑化協力会</td></tr>
<tr><td>第3期</td><td>公募</td><td colspan="2">平成24年4月～平成29年3月</td><td colspan="2">特定非営利活動法人
長野市環境緑化協力会</td></tr>
<tr><td>第4期</td><td>公募</td><td colspan="2">平成29年4月～令和4年3月</td><td colspan="2">特定非営利活動法人
長野市環境緑化協力会</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指定管理者制度
導入経過
（城山動物園）</td><td></td><td>公募・非公募</td><td colspan="2">指定期間</td><td colspan="2">指定管理者</td></tr>
<tr><td>第1期</td><td>公募</td><td colspan="2">平成18年4月～平成23年3月</td><td colspan="2">（一社）長野市開発公社</td></tr>
<tr><td>第2期</td><td>公募</td><td colspan="2">平成23年4月～平成28年3月</td><td colspan="2">（一社）長野市開発公社</td></tr>
<tr><td>第3期</td><td>公募</td><td colspan="2">平成28年4月～令和3年3月</td><td colspan="2">（一社）長野市開発公社</td></tr>
<tr><td rowspan="5">施設利用状況</td><td colspan="2" rowspan="2">利用区分等</td><td colspan="4">利用実績</td></tr>
<tr><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td></tr>
<tr><td colspan="2">噴水広場
（信濃美術館入館者数）</td><td>151,585</td><td>233,145</td><td colspan="2">閉　館</td></tr>
<tr><td colspan="2">城山動物園</td><td>269,798</td><td>248,896</td><td>265,814</td><td>268,749</td></tr>
<tr><td colspan="2">ふれあい広場</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>設置目的、基本方針</td><td colspan="6">全市的な利用を図る都市基幹公園として設置。
自然環境の保全や防災機能の確保などの時代の要請に配慮しつつ、
樹林地の確保や小動物の住める場の創出のほか、レクリエーション、
文化活動の拠点及び広域避難所として災害時の防災拠点としての
役割を担う。</td></tr>
<tr><td>主な実施事業</td><td colspan="6">〇城山動物園（茶臼山動物園城山分園）
・動物園まつり(3・9月)、焼き芋大会（11月）、お正月イベント（1月）
〇ふれあい広場など
・松の手入れ講習会、雑木剪定講習会、しめ縄作り講習会</td></tr>
<tr><td>現状と課題</td><td colspan="6">【施設の老朽化】
・複数の既存施設が老朽化し、今後の在り方を検討する時期を迎えて
いることから、これら施設の在り方も含め公園全体の構想を策定中
【駐車場不足と交通渋滞】
・利用者の大半がマイカーにより来園。駐車場不足とアクセス道の
少なさからイベント時には渋滞が発生し、近隣住民の生活へ影響</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td colspan="6">〇事業名：城山公園再整備事業
〇事業期間：H29年度～R2年度
〇事業内容：県立信濃美術館の全面改築に合せて隣接する
噴水広場を、美術館と統一感を持たせた広場に再整備する。
併せて善光寺との回遊性向上のた交差点改良を計画</td></tr>
</table>

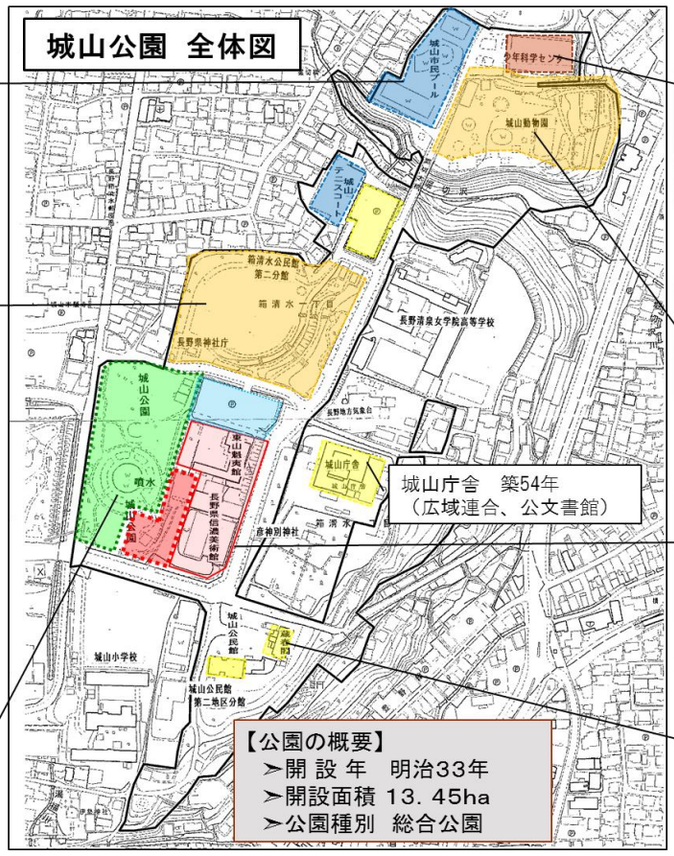
城山公園　全体図

市民プール　築50年

ふれあい広場

さくら並木

噴水広場



城山庁舎　築54年
（広域連合、公文書館）

【公園の概要】
- ➢開 設 年　明治33年
- ➢開設面積 13．45ha
- ➢公園種別　総合公園

少年科学センター
築32年

城山動物園　築56年

信濃美術館　**築51年**
東山魁夷館　築28年

蔵春閣　築51年

噴水広場（信濃美術館から）
整備中（令和2年度末完成予定）

ふれあい広場

城山動物園
（春の動物園まつり）

城山動物園
（遊戯施設））

城山公園再整備事業に関する
サウンディング型市場調査の対話結果

令和元年５月16日
長野市都市整備部公園緑地課

１　調査の目的

本調査は、広く民間事業者の皆様との対話を通じて、城山公園が持つ優位性や潜在的な可能性を活かした公園の賑わいの創出や、周辺地域の魅力を高めるような事業手法等について、自由かつ実現可能な活用アイデアを広くお聞きし、今後の事業手法等の参考とするとともに基本構想策定のための一助とすることを目的としています。

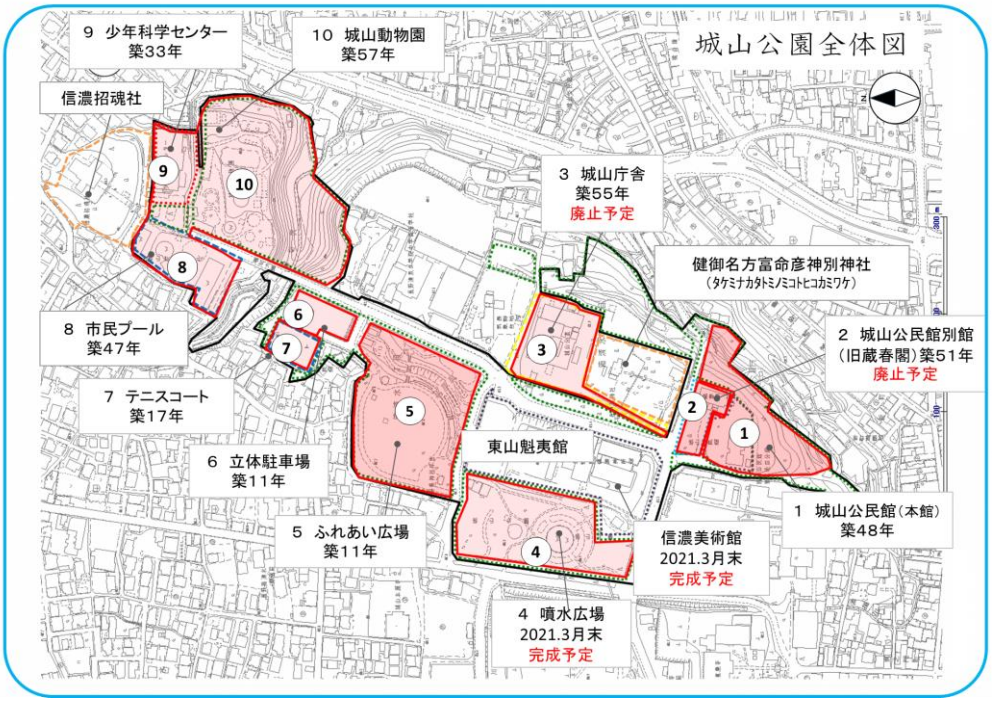
２　事前・現場説明会

開催日　：　平成30年11月２日（金）15：00～17：00
参加者　：　11者　（14名）
内　容　：　現場見学会（旧蔵春閣、噴水広場、ふれあい広場、城山動物園、少年科学センター）
説明会（市場調査の概要説明、対象施設に関する補足説明、質疑応答他）

３　個別対話

期　　間　：　平成31年１月21日～平成31年１月25日
参　加　者　：　11者
参加者内訳　：　建設関係　１者、リース・不動産関係　２者　コンサルタント関係　１者
金融関係１者、法人・団体　４者、公園遊具関係　２者
対 話 内 容　・城山公園の魅力と課題について
・対象施設に関すること
・城山公園の利活用に関すること

調査の対象範囲



4　事業者との対話で得られた主な意見・提案

（1）城山公園の魅力に関する意見・提案

魅力について

・長野市を代表する公園
・善光寺に近い立地条件
・蔵春閣からの眺望が魅力
・城山庁舎の場所も魅力があり事業展開しやすい。
・人が集まれる場所・夜景を見ながら飲食が楽しめる。
・駅から徒歩圏内なので勝算はある。

（2）基本構想に関する意見・提案

コンセプトに関すること

・提案にあたっては公園のコンセプトをしっかり決めて進めたい。
・再整備の方向性が決まれば民間としても協力しやすい。
・再整備には構想コンセプトやデザインを調整するディレクターの存在が大切である。
・公園内にストーリー性があると楽しい。
・観光客メインではなく市民に対して開放するというのが基本である。
・城山公園周辺の道路事情を考えると、車利用が増えるような施設を作るべきではない。

ゾーニングに関すること

・公園の各施設の連続性を高め、城山公園を一体としてまとまりのある空間とすることが重要
・ふれあい広場と噴水広場の間のボトルネックになっている部分を解消することで一体感が確保でき、連続性が生まれる。この部分を拡張することで、利便性が格段に向上する。
・少年科学センターや城山動物園に至る全体を一体的に再整備することで市民だけでなく、広範囲の人々を呼び込むことが重要
・公園の軸となる南北の道は、お花見のできるサクラ並木のある歩行者中心の道とし、野外彫刻や各施設、緑地をつないでいけるとよいのではないか。
・城山公園をサクラの公園として強化していくために、ソメイヨシノ以外の長寿命のサクラを計画的に植え替えていく。
・人の流れを奥の方に呼び込む仕掛けや工夫が必要
・再整備構想を前に進めるためには、具体的な将来像を描いて形にしていくことが大切である。
・城山動物園の周辺にパワーのあるものがほしい。
・城山公園の東側にある森の価値を見直す。

（３）対象施設に関する意見・提案

①②春閣、城山公民館

・旧蔵春閣のロケーションを活かしたホテル事業を展開する。
・旧蔵春閣は文化的な施設であるためリノベーションして活用できる。
・マンション新築分譲の販売を行う。
・市民要望の高い図書館＋カフェの施設整備を行う。
・見晴らし公園として子供たちが喜ぶ大型遊具やドッグランを整備する。
・観光者も市民も楽しめる健康で活動的なイベント対応型の飲食施設を提供する。
・旧蔵春閣の歴史性と立地や眺望を活かした滞在型文化サロンの整備を行う。
・立地のポテンシャルを活かしてホテルやレストラン事業などを展開して観光や商業面での活性化が期待できる。
・既存の松林、日本庭園を残しながら、景色にあった和風の宿泊施設をつくり、展望を楽しむ場所にする。

③城山庁舎

・憩ゾーンとして城山公民館を併設としたカフェを中心にコンビニエンスストアなど物販店を設置して、花見小屋やフリマやバーベキューなどのイベントに対応させる。
・観光者も市民も楽しめる健康で活動的なイベント対応型の飲食施設を提供する。
・立地や眺望を活かした滞在型文化サロンの整備を行う。
・城山庁舎の場所は公園の中心なので、公民館と公園管理事務所を複合した施設を配置する。

④噴水広場

・噴水広場内に芸術文化のゾーンのテーマに合わせたアート遊具を配置する。
・移動式の飲食店舗によるケータリングサービスを展開する。

⑤ふれあい広場

・ふれあい広場と噴水広場に本格的なマレットゴルフ場を整備する。それと同時に堀切沢のあたりに自走式の立体駐車場を整備して利用者の利便性を向上させる。幹線道路である長野大通りから駐車場への進入路をつくり、さらに駐車場から城山公園へアクセスを可能とする。
・移動式の飲食店舗によるケータリングサービスを展開する。
・地元地域とも接する場所であり、人を呼ぶためには好立地。用途としては、カフェや物販を備えた緑育の拠点施設や、公園の総合案内センターとして様々なイベントの案内やメイン会場としての機能も期待できる。
・ふれあい広場にドーム型の全天候型の空間とカフェを設置する。
・ふれあい広場は防災の強化を図るために防災トイレ、防災四阿、臨時ヘリポートなどを整備する。
・マレットゴルフ場　　・キッチンカーなどの移動式店舗
・桜の苑の強化　　・城山パークセンター（物販・情報発信等）

⑥立体駐車場
・立体駐車場の有料化

⑧市民プール
・少年科学センター、城山動物園、市民プールの場所を利用して社会福祉施設を整備する。

⑨少年科学センター
・センター内に大型遊具を設置し、映像と音を加えて楽しい空間にする。
・センター内に子どもたちの運動機能を発達させる新しい感覚の遊具を設置する。
・センターをリニューアルし、科学スポーツとして期待される分野の施設に転用する。

⑩城山動物園
・動物の生態を活かした展示方法をとり、人間も一体的に遊べる施設を配置する。
・動物の展示方法を、自然環境に近く自由に空間を動けるような生態展示に変える。
・動物の動線を活かした展示方法　・駐車場　・アクセス道　・ドッグラン　・モミジ谷

（４）利活用に関する意見・提案

公園活用に関すること
・公園内に地元企業を中心とした飲食関係のチャレンジショップ的な場所を設ける。
・泊まれる公園という形も公園の利用価値として挙げられる。
・インバウンドに対応したホテルや民泊施設の提供
・コンビニエンスストアは地元住民も利用できるので有効な施設となる。
・緑の中を散策できるデッキやブリッジのようなものがあると斜面林等をうまく利用して各施設の魅力を高めながら公園全体を繋げていくことができる。
・城山動物園南側の堀切沢エリアはもみじのゾーンとしてイメージアップを図る。また、堀切沢はドッグランを設置する有効な場所である。
・モニュメント等を設置（インスタ映え）
・噴水広場の花時計をリニューアルしていだきたい。

運営に関すること
・都会で成功しているから長野で成功するとは限らない。
・長期的に安定させるためには地域協力型の長野市モデルをつくる。
・城山公園再整備における合意形成を行い、市民主体の事業参加を促進するために、市民主導型のネットワーク組織を設立する。
・リース方式（無償譲渡特約付）で整備して、民間が資金調達・施設整備を行い、10 年～20 年の長期リースで市からリース料を支払う。施設の譲渡はＢＴＯでもＢＯＴでも対応可能である。
・城山公園内の多様なコンテンツをまとめて発信するなど、公園全体のパークマネジメントと合わせて、観光目的の来訪だけでなく、長野市民もあまねく利用、交流できる施設の整備、体験型コンテンツを用意していく。

情報に関すること
・マスコミ等の報道機関を活用した情報発信
・SNS を利用した城山公園の情報発信
・クラウドファンディングを活用したイベント

（5）公園の課題について

課題について

・全体としての統一感がない。
・施設が園内に分散しているので利用しづらい。
・公園を南北に貫く市道に元気がないように思える。
・公園内に箱モノが少ないので滞在時間が短い。
・もう少し明るくオープンな場所にしたほうがいい。
・ここにしかない独自性が足りない。
・作ったままであまり手が入っていない。
・お洒落さを感じることがない為（施設の老朽化など）、若い人・感度の高い人が集まらない。
・周辺住民にとっての住民サービス施設が全くない為、地元の人の利用が少ない。
・善光寺に近接した好立地に恵まれているが、売り物になるコンテンツがない。（どこにでもある施設）
・公共施設のバージョンアップがなされないまま、同じコンテンツを提供し続けている。
・城山動物園の動物との距離が遠く感じる。
・城山動物園はテーマを絞るべき。
・城山動物園はリピート感が薄い。
・少年科学センターは大きな変化がない。
・少年科学センターの外観が少し暗く感じる。
・おみやげを買う場所が周辺にない。

5　サウンディング型市場調査の結果を踏まえて

広範な分野にわたる多くの事業者から、様々な意見・提案をいただきました。いただいた貴重なご意見・ご提案につきましては、以下の視点を踏まえ、公園一帯の基本構想策定の参考にさせていただきます。

本公園の魅力を活かした賑わいの創出

⇒善光寺と隣接した好立地と、良好な眺望の高台など、高評価をいただいた場所もあり、魅力を活かした活用も期待できることから。調査結果を踏まえて基本構想の検討を行うと同時に民間活力の導入に向けた検討も進めます。

公園本来の目的との整合

⇒民間活力導入によるサービス向上に向けた検討をしつつ、市民、地域住民にとって、日常生活における身近な憩いの場、集いの場、レクレーションの場である本園本来の目的との整合性について検討します。

持続可能で安定した施設運営

⇒持続可能で安定した施設運営には、サービスの向上を図りつつ管理コスト低減が求められることから、民間活力導入によるコスト低減効果について検討します。

城　山　公　園　整　備　事　業

令和元年5月16日
公共施設適正化検討委員会（現地視察）資料

事業概要

園内に立地する県立信濃美術館の全面改築に合わせ、隣接する公園を美術館と共通のコンセプトにより一体的に整備するとともに、年間700万人が訪れる善光寺からの観光客を誘う市道について、無電線化及び美装化による高質な歩行空間として整備し、回遊性を向上させ美術館エリアを核とした公園の賑わいと地域の活性化を図るもの。

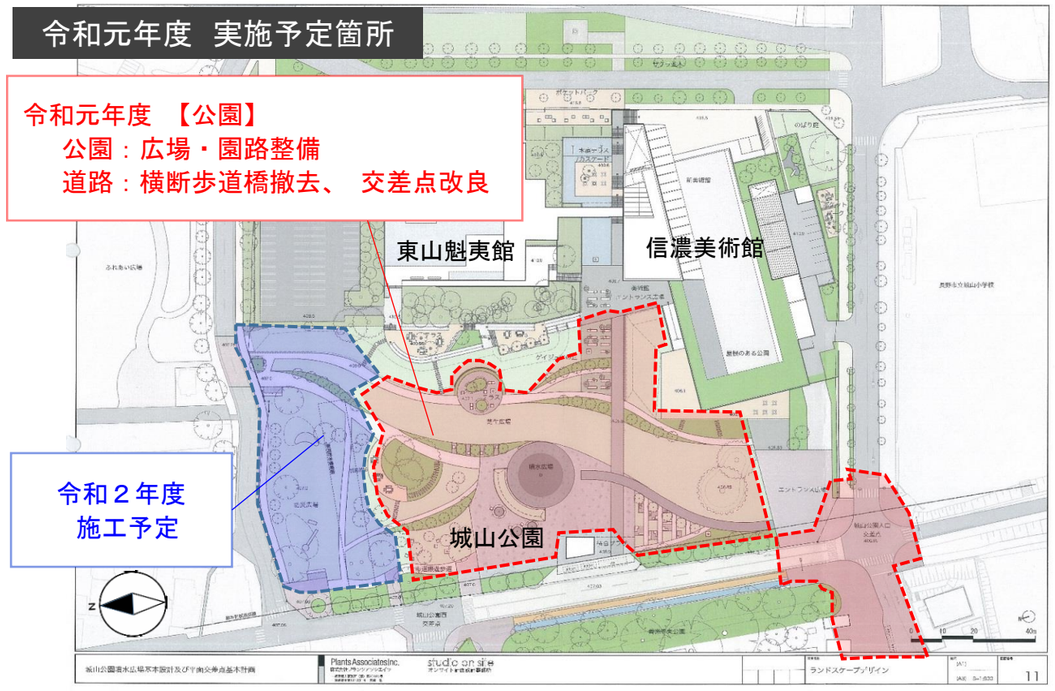
併せて、災害時の拠点となる広域避難場所としての機能拡充を図る。

実施計画

整備イメージ

全体計画
事業期間：平成29年度～令和2年度
事業内容　公園再整備：面積　1．3ha
　　市道整備：交差点改良工

令和元年度　実施予定箇所



基本構想の検討状況

■再整備のコンセプト（素々案）

歴史や文化を伝え、みんなが集い、学び、憩える「文化・芸術・レクリエーションの

■整備方針（素々案）

・文化・芸術を発信する場
・立地を活かした魅力ある施設が集まる場
・周辺環境と調がとれたみどりあふれる場
・人が集い、憩える場
・学びの場
・地域の防災拠点

■展開するゾーンの検討

（検討中のゾーン）
・芸術・文化ゾーン
・交流・文化・学びゾーン
・眺望・憩いゾーン
・憩い・ふれあいゾーン
・森の保全ゾーン
・お花見・散策ゾーン

サウンディング市場調査との整合

パブコメ

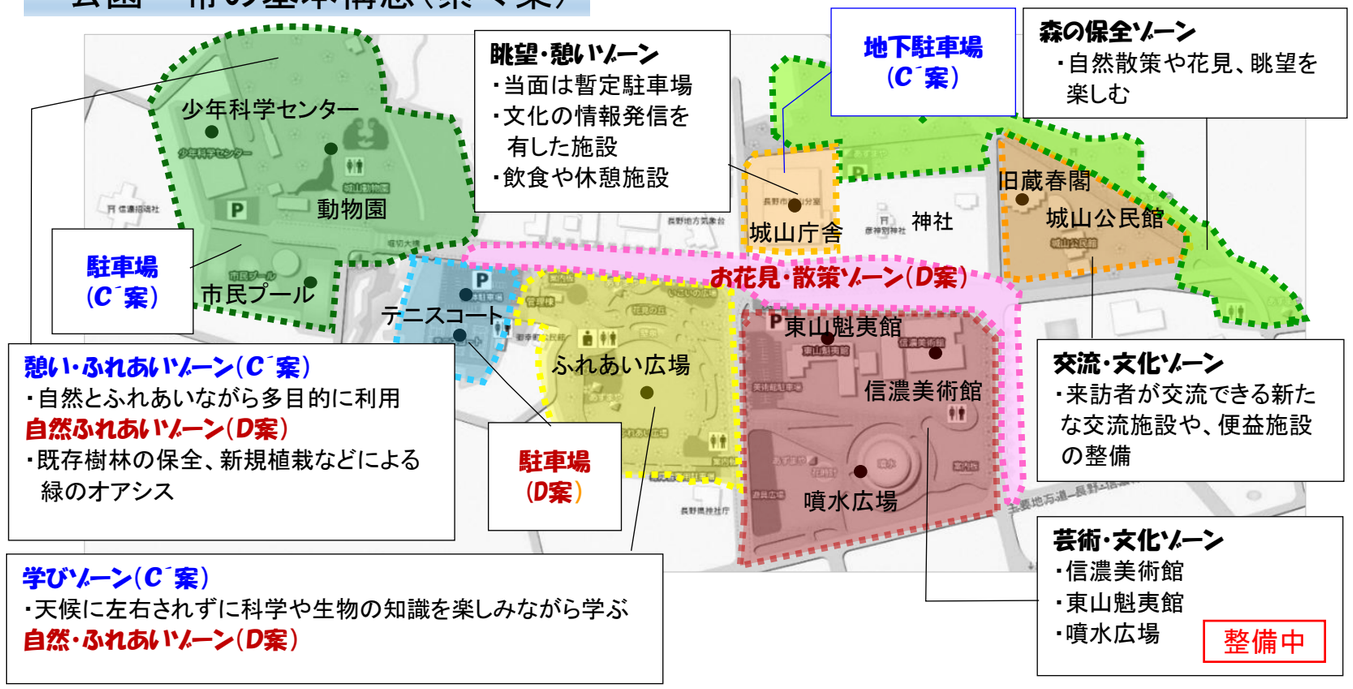
動線計画・導入施設等

短期中期長期計画等

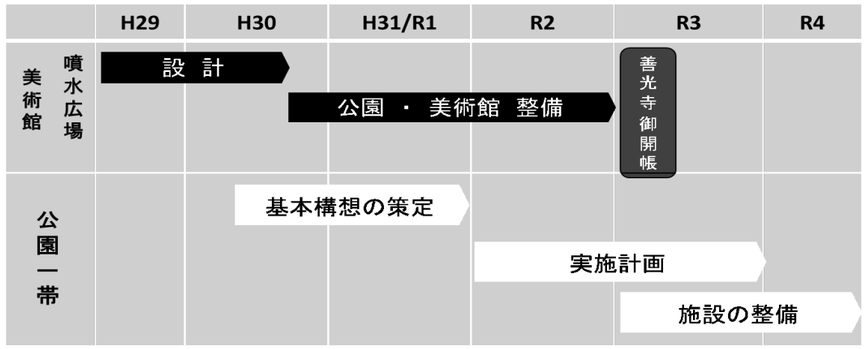
基本構想の決定

公園一帯の基本構想（素々案）

※H31.3.14開催の検討委員会におけるゾーニング素々案を編集



スケジュール（予定）



施設概要調書

施設名：篠ノ井駅西口低未利用地　　担当課：都市整備部都市政策課

<table>
<tr><td>所　在　地</td><td colspan="6">長野市篠ノ井布施五明 布施高田</td></tr>
<tr><td>開　　設</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td>施設概要</td><td colspan="6">面積　A≒1.7ha</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指定管理者制度導入経過</td><td></td><td>公募・非公募</td><td colspan="2">指定期間</td><td colspan="2">指定管理者</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="6">施設利用状況</td><td colspan="2" rowspan="2">利用区分等</td><td colspan="4">利用実績</td></tr>
<tr><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>設置目的、基本方針</td><td colspan="6">長野新幹線の開業、冬季オリンピック開催に向け、篠ノ井駅周辺の利便性向上や活性化を目的に、鉄道清算事業団の敷地を市土地開発公社が先行買収したもの。</td></tr>
<tr><td>主な実施事業</td><td colspan="6">【整備】
駅前ロータリー　A=0.4ha
（暫定利用：駐輪場、月極め駐車場、公園）</td></tr>
<tr><td>現状と課題</td><td colspan="6">現在、約0.4haが駅前広場ロータリー、約1.3haが長野市土地開発公社の所有地となっている。長野市土地開発公社の土地については、事業化の際に再取得が必要になる。今後、事業計画の策定にあたり、当該地全体の整備方針や施設の機能・規模などについて、民間事業者が有するノウハウなど助言・提案を受け、官民連携によるまちづくりの具体的な検討を進めていきたい。</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td colspan="6">隣接者であるJR貨物側から、土地の有効利用を図ることを理由としてJR貨物所有地（廃線敷地）との土地交換を打診されおり、現在、協議継続中である。</td></tr>
</table>

対象地の概要【航空写真】

JR北陸新幹線
JR信越本線
JR貨物軌道敷
東西自由通路（H9年完成）
L=100m W=6m
篠ノ井駅
JR貨物軌道敷
40m
37m
35m
66m
15m
25m
296m
ＪＲ貨物　所有地
約18,000㎡
市・土地公　所有地
約17,300㎡

幸せ実感都市『ながの』

篠ノ井駅西口低未利用地活用事業に関する サウンディング型市場調査の対話結果の公表について

平成 31 年２月 27 日
長野市都市整備部都市政策課

１　調査の目的

篠ノ井駅西口の低未利用地への図書館・子育て支援施設を核とした複合施設の整備や周辺のまちづくりについて、事業の構想段階において民間事業者が有するノウハウやアイデア等を参考とし、様々な可能性を検討するためサウンディング型市場調査を実施。今後、民間事業者からの幅広い意見を踏まえた最適な事業計画や手法を検討する。

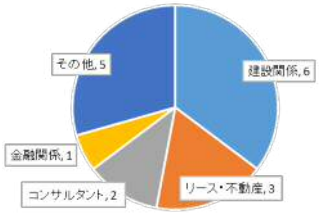
２　事前・現場説明会

開催日　：　平成 30 年 11 月 13 日（火）14：00～16：30
参加者　：　19 団体　（31 名）
内　容　：　現場見学会（篠ノ井駅西口・篠ノ井こども広場・南部図書館）
　　説明会（対象施設に関する補足説明　質疑応答　他）

説明会場（更級教育会　大会議室）

３　個別対話

期　　間　：　平成 31 年１月 22 日～平成 31 年１月 31 日
　　（参加申込者多数のため期間を延長して実施）
参　加　者　：　17 団体
事業者区分　：　建設関係　６事業者　リース・不動産関係　３事業者
　　コンサルタント関係　２事業者　金融関係　１事業者
　　その他　５事業者
主な対話内容　：　① 対象地の印象について
　　② 対象地に立地が想定される民間施設のイメージ
　　③ 魅力的な公共施設とするために有効な視点
　　④ 行政に期待する支援や配慮してほしい事項　など



対象地の概要
【航空写真】

4　事業者との対話で得られた主な意見・提案

①　対象地の印象に関する意見・提案

立地や周辺環境に関すること

・駅と自由通路で直結している点は大きなメリットであり、篠ノ井駅が交通結節点であることを考慮すると一定の市場性を有すると考える。

・「周辺が低層戸建て住宅地であること」や、「アクセス道路が貧弱であること」などは土地を高度利用するには難点。

敷地の大きさに関すること

・隣接するＪＲ貨物軌道敷との一体的な整備により敷地を整形化することで、駅東西の移動距離の短縮や効率的な施設配置が可能となるなどのメリットがある。

・公共施設だけであれば、現在の敷地だけでも建築は可能。

・一体的な土地となれば、敷地が広大であることから段階的な整備が有効ではないか。

②　対象地に立地が想定される民間施設のイメージに関する意見・提案

施設のイメージに関すること

・敷地の規模を活かして大規模な敷地が必要な施設を誘致することが可能と考える。

・地域に根差したサービス施設（保育施設、介護施設、医療施設、高齢者サービス、スポーツ施設など）の需要はあると考える。

・大規模な物販店舗の立地は難しいが、地域住民や駅利用者の利用を想定した店舗（コンビニ、スーパーなど）の需要はあると考える。

・居住人口の増加を目的とした住宅地（マンション・賃貸・戸建て）としての需要はあると考える。

その他

・敷地が駅に隣接しているとはいえ駐車場の整備は非常に重要と考える。

・商業施設は周辺環境の変化などによりマーケット状況が変化するため、5～10 年の短いスパンで撤退、出店を繰り返すので注意が必要と考える。

③　魅力的な公共施設とするために有効な視点に関する意見・提案

施設の計画に関すること

・若い人を呼び込むことが施設の永続性につながる。小学生から高校生や若い子育て世代に魅力的な施設づくりが必要である。

・30 年前の図書館は、図書の貸し出し機能が重視され一人当たりの滞在時間も短かったが、近年は心地良い空間の提供（時間消費型）がトレンドである。

・居心地のよいオープンスペース（学習広場・ホール）があると学生や子育て世帯が集まりやすい。

・図書館・子育て支援施設は、民間の施設と相乗効果が得やすい公共施設である。

・駅の近くであっても、多くの来館者が自動車を利用すると想定されることから、十分な広さの駐車場を整備することが重要と考える。

④ 行政に期待する支援や配慮してほしい事項に関する意見

支援に関する事項

・可能な限り民間資金を活用して事業を実施したいが、公的補助（補助金や土地使用料の減免など）も検討してほしい。

配慮してほしい事項

・マーケット状況が刻々と変化しているなか、民間事業者は長期的な計画には対応が難しい。事業化スケジュールを少しでも短縮してほしい。

・隣接するＪＲ貨物軌道敷を含めた土地利用の動向を早い段階で把握したい。

・公有地の売却・貸付等について検討してほしい。

・対象地の地価は、民間施設と合築しても民間事業者が公共施設の費用を負担できるほど高くないため相応の公費負担が必要。

・地中埋設物などは、事前に調査・対応をしてほしい。

５　サウンディング型市場調査の結果を踏まえて

広範な分野に亘る数多くの事業者の皆様から、様々なご提案・ご意見をいただきました。いただいた貴重なご提案・ご意見を参考に事業化に向け以下の視点で具体的な検討を進めていきたいと考えています。

民間活力を活かした官民連携

⇒民間のノウハウが十分に発揮されるよう、適切な役割分担を検討すると伴に、事業のスケジュールを明示するなど事業者が参入しやすい環境を整える。

次世代を見据えた公共施設の在り方

⇒立地のメリットを活かし、学生や若い子育て世代が魅力を感じられる施設（図書館や子育て施設）となるよう、市民ニーズを把握したうえで必要な機能や規模について検討を進める。

地域の特性を活かした賑わいの創出

⇒整備する公共施設が、エリア周辺の民間投資を呼び込み、相乗効果による賑わいの創出を目指す。

敷地南端から

施設概要調書

施設名： 長野市立南部図書館　　担当課： 教育委員会　家庭・地域学びの課、南部図書館

所　在　地	長野市篠ノ井御幣川1201				
開　　設	昭和54年新築移転、6月11日開館				
施設概要	鉄筋コンクリート造2階建、一部地下１階　2,130.68㎡ ・閲覧室　・閉架書庫 ・事務室、資料室　・会議室 ・移動図書館車庫				
指定管理者制度導入経過		公募・非公募	指定期間	指定管理者	
施設利用状況	利用区分等	利用実績			
		H27	H28	H29	H30
	本館貸出冊数	489,594冊	482,433冊	480,901冊	495,315冊
	本館貸出利用者数	92,376人	91,159人	89,694人	92,610人
	移動図書館貸出冊数	124,512冊	121,472冊	115,316冊	120,950冊
	移動図書館貸出利用者数	27,791人	27,106人	25,876人	27,364人
	行事参加者数	3,821人	3,830人	3,445人	3,623人
設置目的、基本方針	【設置目的】 図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する。 【基本方針】 「市民に親しみをもって利用される図書館づくり、市民の要望にこたえられる図書館づくり、市民の生涯学習に役立つ図書館づくり」を基本目標としている。				
主な実施事業	・南部図書館本館、移動図書館、図書館分室、市民文庫による図書資料の貸出、閲覧、レファレンスサービス　等 ・子ども読書活動を推進するための行事（あかちゃんのおはなし会、おはなし会、こども会、南部図書館まつり、読み聞かせ講座等）の開催				
現状と課題	南部図書館は、昭和54年建設で老朽化が進み手狭なため、施設の改築及び整備が課題となっている。 平成28年2月に策定した「長野市立図書館基本計画」の中で、「篠ノ井駅周辺のまちづくりを視野に、地域活性化につながる拠点としての位置付けを考慮し、改築する方向で検討する」こととされている。				
そ　の　他	・平成28年２月に篠ノ井地区住民自治協議会、長野商工会議所篠ノ井支部、篠ノ井地区区長会より南部図書館の改築・整備の要望がされる。 ・平成28年８月に開催された「活き生き篠ノ井　みんなでトーク」で「南部図書館の改築・整備について」提案される。 ・平成29年８～９月に「篠ノ井地区の公共施設について考える」市民ワークショップ」が4回開催され、移転改築、複合化や廃止など多種多様な意見が出される。 ・平成30年５月に、篠ノ井地区住民自治協議会、長野商工会議所篠ノ井支部、篠ノ井商店会連合会より南部図書館の改築・整備の要望がされる。				

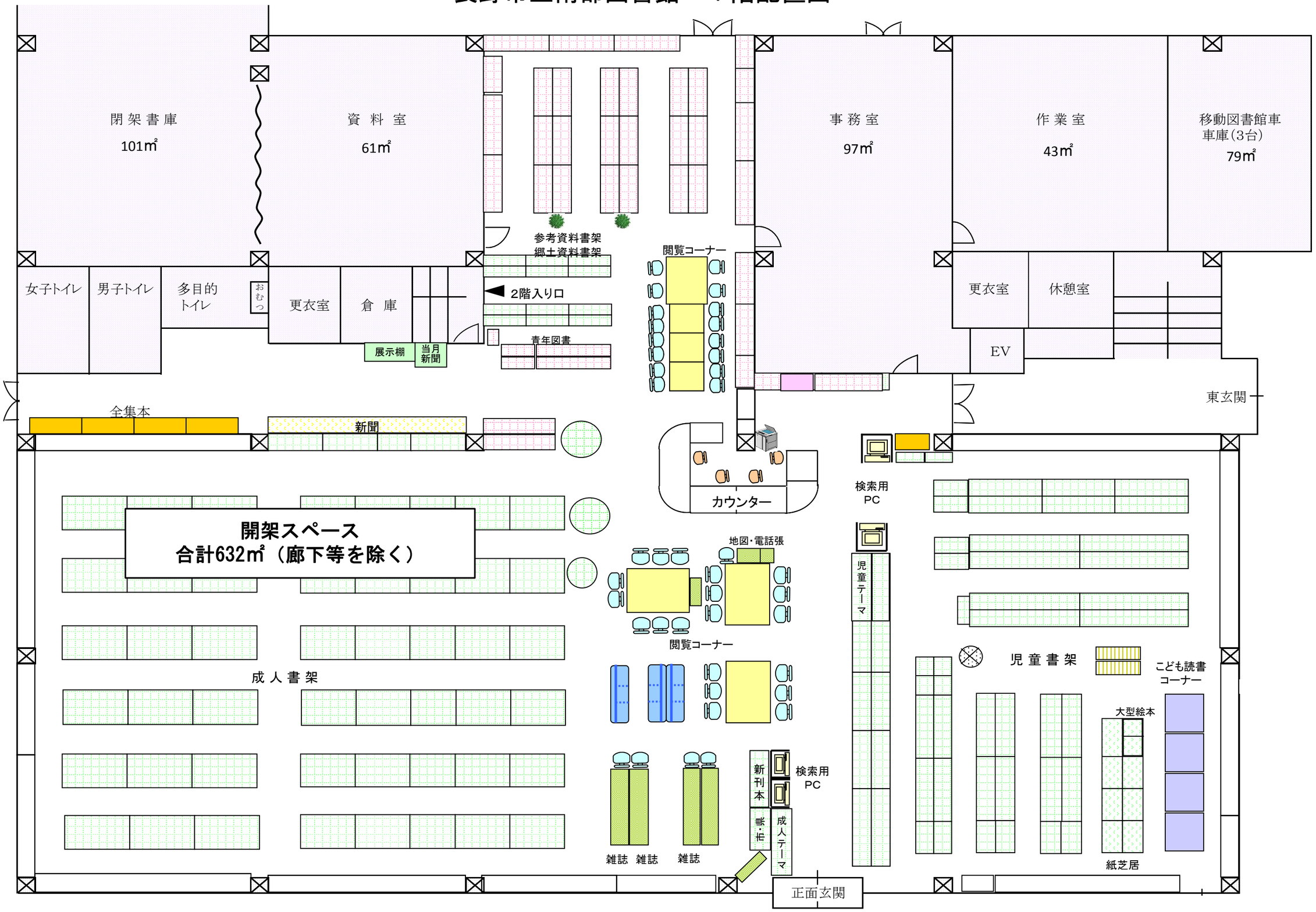
外観

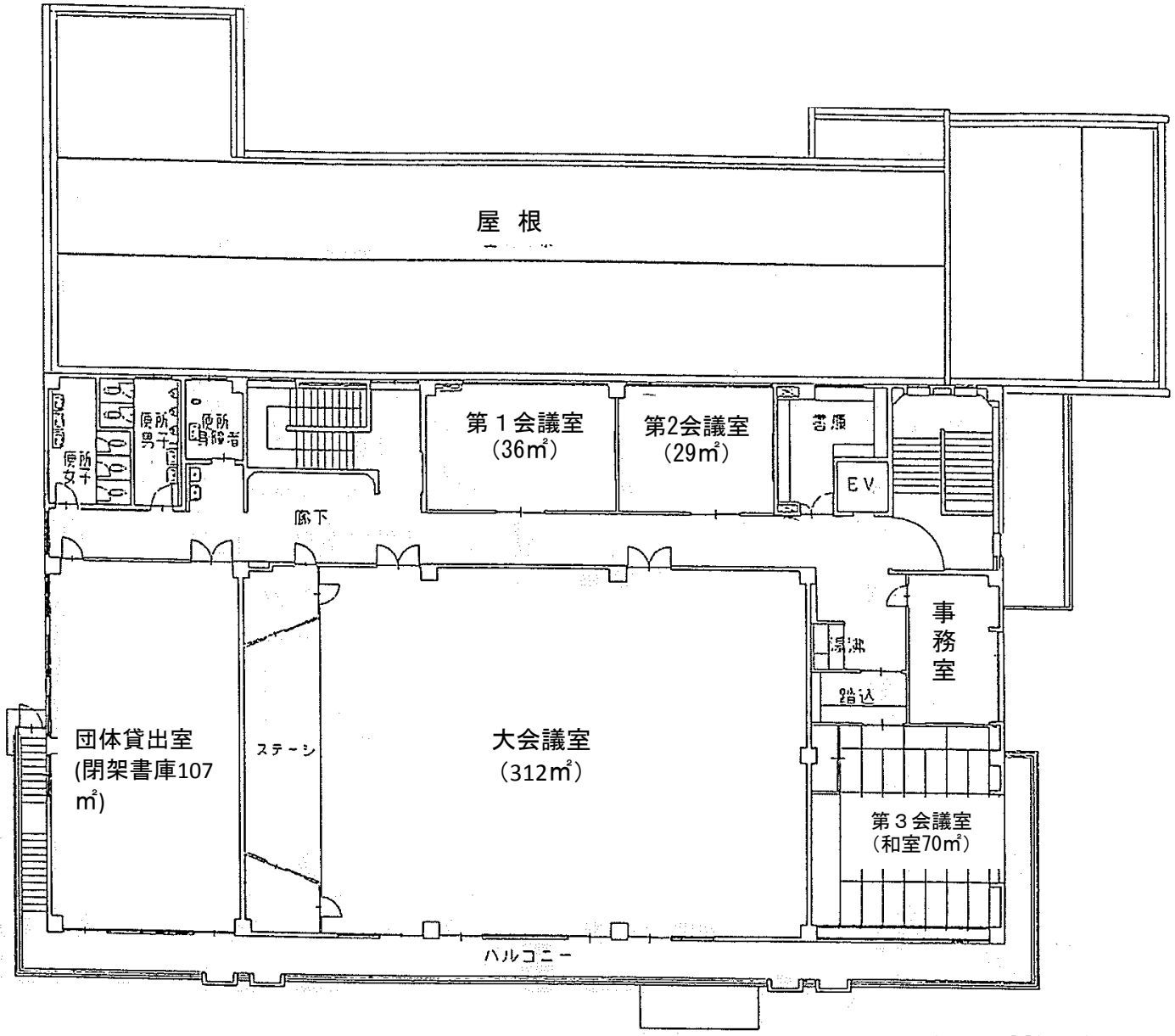
成人閲覧室

児童閲覧室

2階大会議室

長野市立南部図書館　１階配置図




屋 根
第１会議室
(36㎡)
第2会議室
(29㎡)
EV
廊下
事務室
団体貸出室
(閉架書庫107
㎡)
ステージ
大会議室
(312㎡)
踏込
第３会議室
(和室70㎡)
バルコニー

２階平面図

南部図書館の概要

1　沿　革

明治40年	5月	通明小学校内に篠ノ井通明図書館開館
大正12年	11月	篠ノ井町・栄村組合立の公立通明図書館となる
昭和 4年	10月	通明小学校創立50周年記念事業として町立通明図書館新築（昭和3年篠ノ井町と栄村合併）
昭和34年	5月	篠ノ井市立通明図書館となる（篠ノ井市制施行）
昭和41年	10月	長野市立通明図書館となる（長野市と合併）
昭和44年	6月	建物の老朽化のため、旧日本専売公社の土地建物を買収し、篠ノ井布施高田368番地へ移転
昭和54年	3月	更級教育会より敷地の寄附をうけ、篠ノ井御幣川1201番地へ新築移転（延床面積2,089.26㎡）
	4月	通明図書館を改称し、長野市立南部図書館設置（昭和54年3月31日条例第31号）
	6月	長野市立南部図書館開館（6月11日）
平成 5年	12月	書庫増築（延床面積41.42㎡）
平成17年	6月	合併により4地区へ移動図書館巡回開始
平成22年	2月	合併により2地区へ移動図書館巡回開始
平成30年	1月	広域貸出開始（須坂市、千曲市、小布施町(7月～)、高山村、信濃町、小川村、飯綱町）

2　施設の概要

敷地面積		2,186.85㎡	
建物			
	構造	鉄筋コンクリート造2階建、一部地下１階	
	建築面積	1,204.10㎡	
	延床面積	2,130.68㎡	
	建設費	321,519千円	
移動図書館車		4台	
	いいづな１号	三菱トラック（3.5t車）改造車（平成30年3月更新）	約3,500冊登載
	いいづな２号	三菱トラック（3.5t車）改造車（平成13年7月更新）	約3,500冊登載
	いいづな３号	三菱トラック（3.5t車）改造車（平成14年12月更新）	約3,500冊登載
	いいづな４号	いすゞトラック（2t車）改造車（平成17年11月更新）	
4号車車庫		25.0㎡	
障害者用駐車場		1台（地面表示）	

3　開館日・開館時間

開館時間　午前10時～午後6時

休館日　火曜日

月末の館内整理日（火・土・日・祝休日の場合は直前の平日、12月は第4水曜日）

年末年始（12月29日～1月3日）

資料点検期間

4　蔵書数　（平成31.3.31現在）

（冊）

本館	移動図書館	市民文庫	分室（公民館・交流センター）	合計
240, 799	41, 709	14, 817	80, 827	378, 152

５ 貸出利用者数（本館）

※閲覧のみの来館者数を含まない。（人）

年度	開館日数	一般	児童	音楽配信	計
26	286	75,433	13,682	103	89,218
27	285	77,967	14,337	72	92,376
28	285	76,867	14,209	83	91,159
29	285	75,099	14,524	71	89,694
30	285	78,177	14,355	78	92,610

６　貸出冊数（図書・本館）

年度	図　　書			雑誌			音楽配信	資料計
	一般書	児童書	図書計	一般	児童	計		
26	280,348	171,440	451,788	19,581	1,608	21,189	103	473,080
27	284,395	183,233	467,628	20,494	1,400	21,894	72	489,594
28	274,299	187,728	462,027	18,891	1,432	20,323	83	482,433
29	268,467	193,419	461,886	17,687	1,257	18,944	71	480,901
30	278,462	198,069	476,531	17,192	1,514	18,706	78	495,315

７　移動図書館

南部図書館では、移動図書館車３台（本の積載量１台3,500冊）により市内92か所へ巡回し、本の貸出業務を行っている。各巡回場所へは概ね２週間に１度の巡回。

区分 ＼ 年度		26	27	28	29	30
利用者数（人）		28,595	27,791	27,106	25,876	27,364
	一般	24,266	23,649	23,204	22,412	23,975
	児童	4,329	4,142	3,902	3,464	3,389
利用冊数（冊）		126,367	124,512	121,472	115,316	120,950
	一般	85,371	83,807	80,820	77,995	82,200
	児童	40,996	40,705	40,652	37,321	38,750

８　分室（公民館・交流センター）

区分 ＼ 年度		26	27	28	29	30
利用者数（人）		26,578	28,503	27,100	28,894	29,813
	一般	23,976	25,682	24,977	26,122	27,012
	児童	2,602	2,821	2,123	2,772	2,801
利用冊数（冊）		75,219	77,230	74,485	80,018	86,138
	一般	51,726	52,814	53,655	56,350	58,450
	児童	23,493	24,416	20,830	23,668	27,688

９　市民文庫

区分 ＼ 年度	26	27	28	29	30
施設数	35	35	33	32	32
貸出冊数	28,592	28,941	28,002	29,002	29,271

※貸出冊数は各施設へ配本した数

施設概要調書

施設名： 篠ノ井総合市民センター　　担当課： 地域・市民生活部地域活動支援課
教育委員会家庭・地域学びの課
保健福祉部高齢者活躍支援課

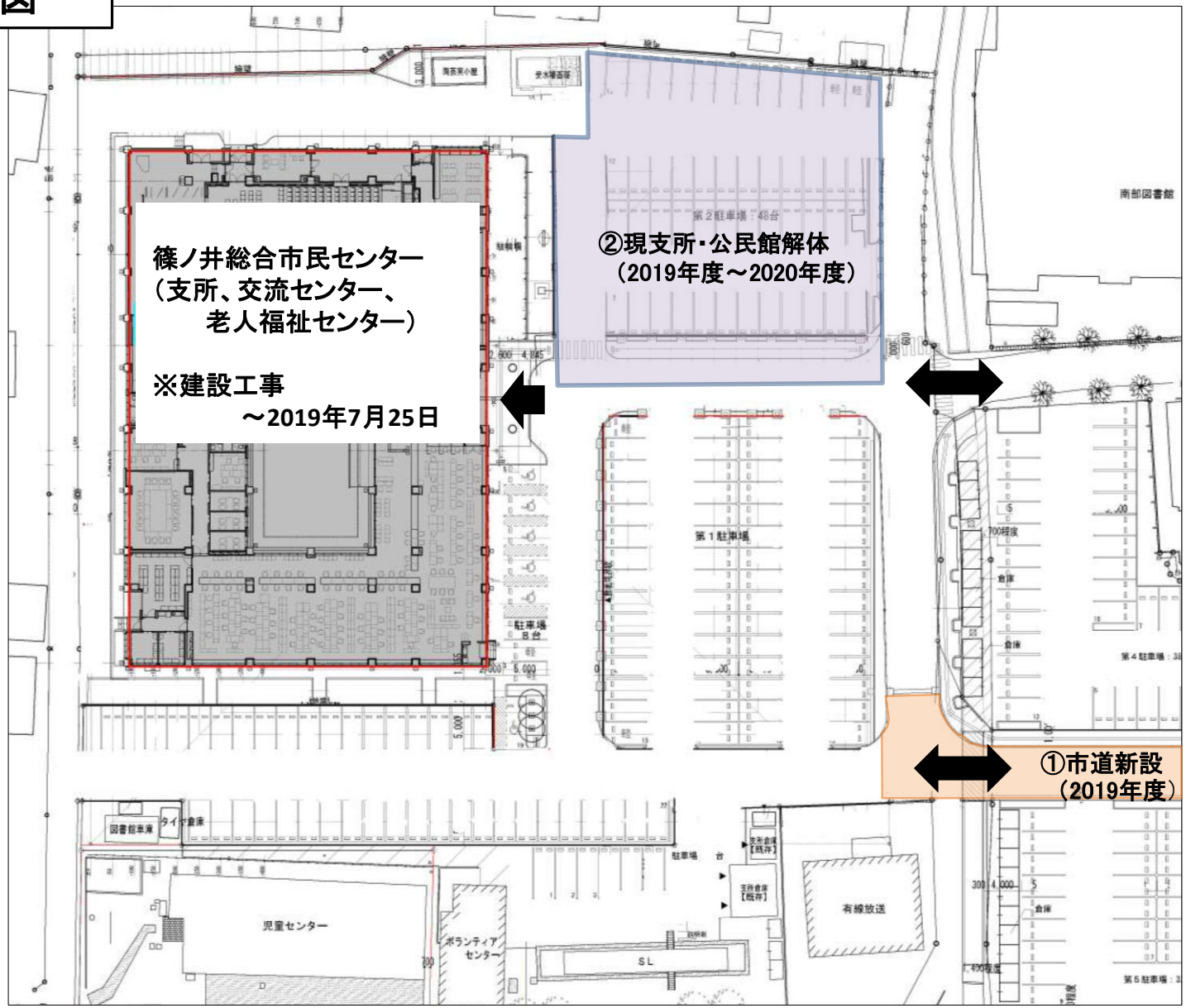
<table>
<tr><td>所　在　地</td><td colspan="5">篠ノ井御幣川</td></tr>
<tr><td>開　　設</td><td colspan="5">令和元年（2019年）※2019年7月竣工予定</td></tr>
<tr><td>施設概要</td><td colspan="5">支所（地域活動支援課）、交流センター※（家庭・地域学びの課）、老人福祉センター（高齢者活躍支援課）の複合施設
※平成30年9月から公民館が交流センターとなった。
・支　所：事務室、会議室　等
・交流C：多目的ホール（ステージ付き）、工作室、学習室、事務室
・老福C：音楽室、料理教室、集会室、事務室</td></tr>
<tr><td rowspan="6">指定管理者制度導入経過</td><td></td><td>公募・非公募</td><td colspan="2">指定期間</td><td>指定管理者</td></tr>
<tr><td>公民館(前々回)</td><td>非公募</td><td colspan="2">平成27年４月～平成30年３月</td><td>篠ノ井地区住民自治協議会</td></tr>
<tr><td>公民館（前回）</td><td>非公募</td><td colspan="2">平成30年４月～平成31年３月</td><td>篠ノ井地区住民自治協議会</td></tr>
<tr><td>老福（前々回）</td><td>公募</td><td colspan="2">平成24年４月～平成29年３月</td><td>（福）長野市社会福祉協議会</td></tr>
<tr><td>老福（前回）</td><td>公募</td><td colspan="2">平成29年４月～平成31年３月</td><td>（福）長野市社会福祉協議会</td></tr>
<tr><td>交流センター
老福センター</td><td>非公募</td><td colspan="2">平成31年４月～令和4年３月</td><td>篠ノ井地区住民自治協議会</td></tr>
<tr><td rowspan="7">施設利用状況</td><td colspan="2" rowspan="2">利用区分等</td><td colspan="4">利用実績（人）</td></tr>
<tr><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td></tr>
<tr><td colspan="2">支所</td><td>44,804</td><td>46,613</td><td>46,603</td><td>集計中</td></tr>
<tr><td colspan="2">交流センター（公民館）本館</td><td>44,813</td><td>45,264</td><td>45,053</td><td>44,090</td></tr>
<tr><td colspan="2">（老福）生きがいづくり講座受講者数</td><td>4,475</td><td>3,842</td><td>3,826</td><td>3,827</td></tr>
<tr><td colspan="2">（老福）地域福祉活動利用者数</td><td>1,896</td><td>2,034</td><td>2,244</td><td>2,004</td></tr>
<tr><td colspan="2">（老福）グループ活動利用者数</td><td>4,639</td><td>4,984</td><td>4,891</td><td>4,606</td></tr>
<tr><td>設置目的、基本方針</td><td colspan="5">老朽化し耐震性のない現篠ノ井支所、公民館の建替にあわせ、現在ほかの施設と併用している老人福祉センターを一体として整備することによって、市民が安心して快適に施設を利用できるとともに、災害時の防災活動の拠点としての機能や生涯学習、高齢者の生きがい活動の場となるような機能を持たせ、篠ノ井地区のまちづくりの拠点として整備を進める。</td></tr>
<tr><td>主な実施事業</td><td colspan="5">＜支所＞
支所業務（市民担当、庶務担当、土木担当、維持課南部土木事務所、介護保険課、中部包括支援センター、福祉政策課篠ノ井分室）

＜交流センター、老人福祉センター＞
貸館、講座の開催（教養講座等）等</td></tr>
<tr><td>現状と課題</td><td colspan="5">本施設周辺には学校、保育園、図書館等その他公共施設があり、また狭い土地での建設となるため、講座、イベント等が重なると、駐車場の台数の確保に課題が残る。</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td colspan="5">平成25年２月　篠ノ井地区から公共施設の整備への要望書が提出される
平成25年３月　篠ノ井支所公共施設整備計画検討会を設置
平成25年７月～平成26年８月　検討会開催（全6回）
平成26年８月　第６回検討会（市の整備基本方針を了承）
平成27年８月　（仮称）篠ノ井総合市民センター建設検討委員会設置
平成27年10月～平成29年８月　建設検討会議開催（全４回）
平成29年８月　第４回建設検討会議（実施設計の了承）
平成29年12月～　令和元年7月　建設工事開始（杭工事、建築、電気、機械）</td></tr>
</table>

篠ノ井総合市民センター建設について

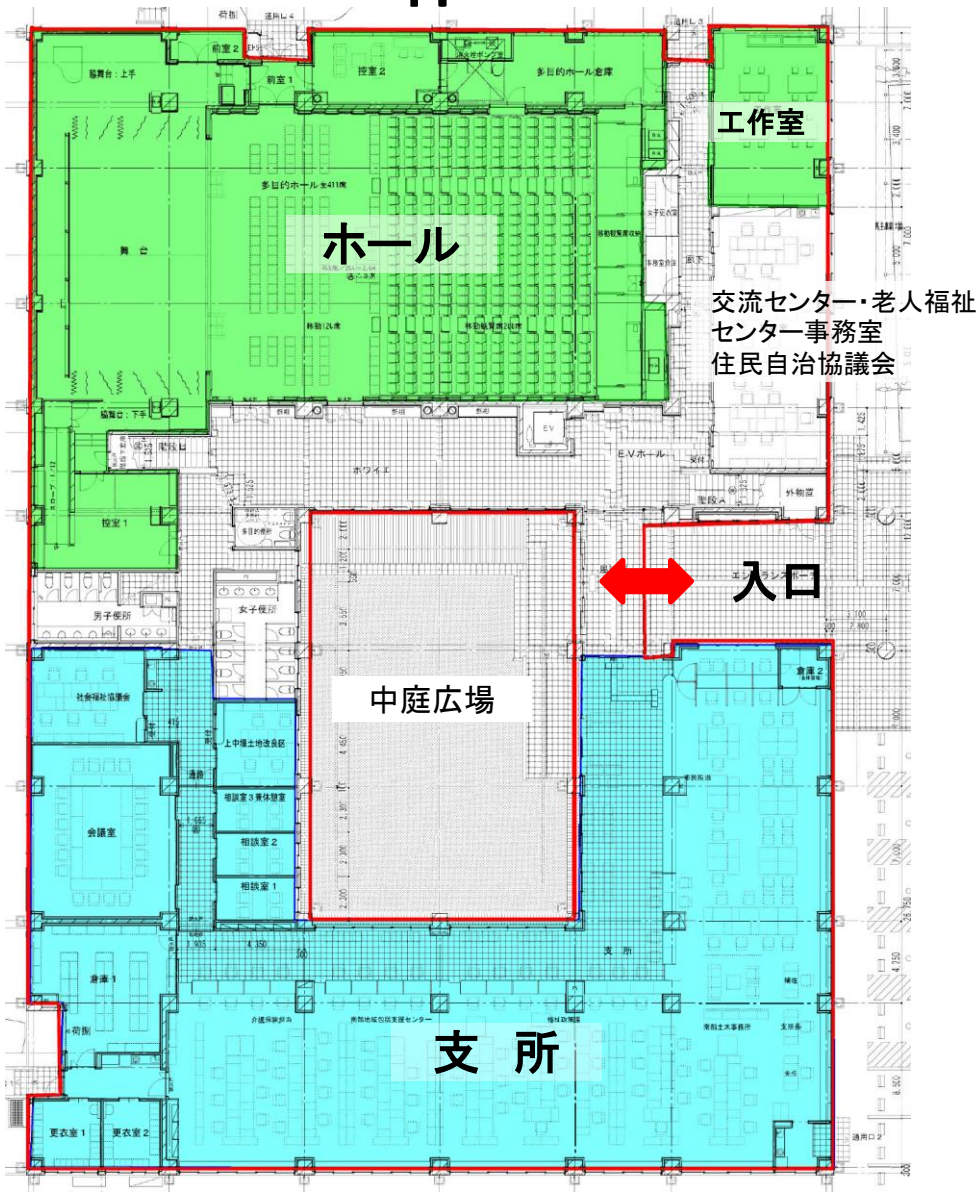
令和元年5月16日
公共施設適正化検討委員会
説明資料

配置図

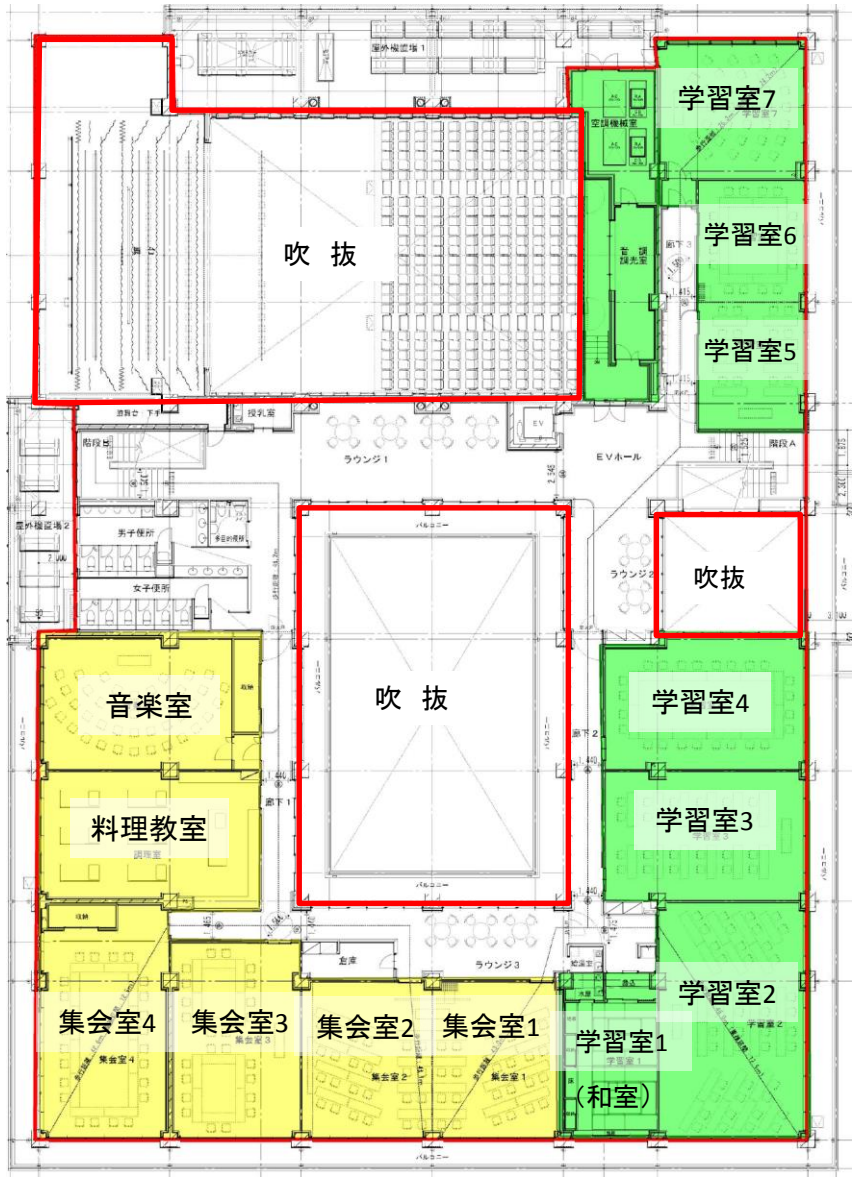


篠ノ井総合市民センター　平面図

1F



2F



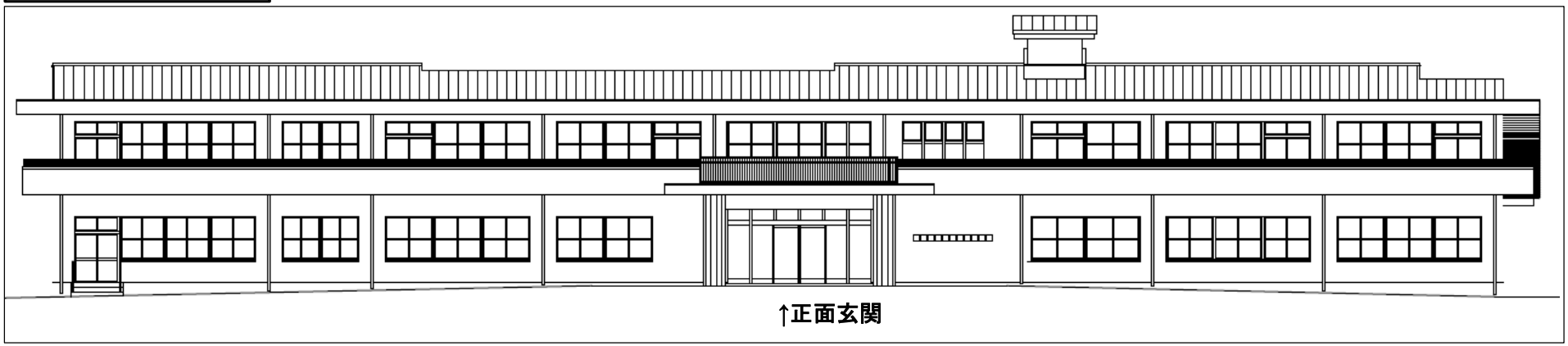
支所部分

交流センター部分

老人福祉センター部分

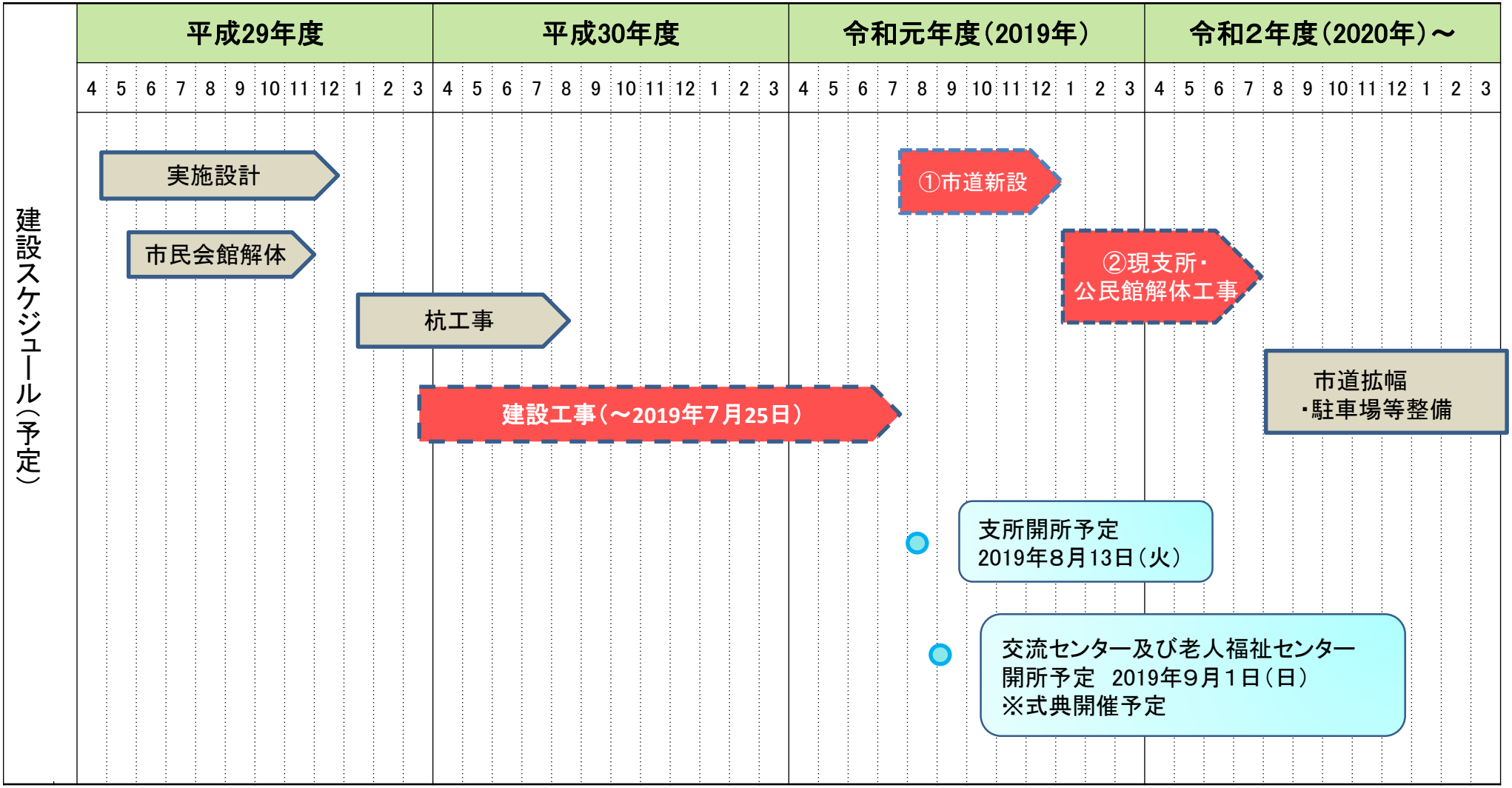
篠ノ井総合市民センター 施設概要

東面立面図



施設概要	複合施設	篠ノ井支所、篠ノ井交流センター、篠ノ井老人福祉センター
	施設構造等	鉄筋コンクリート造　２階建て
	延床面積	3,529.39㎡（支所:1,169.78㎡、交流センター:1,740.49㎡、老人福祉センター:619.12㎡）
	主な室名	支　所：事務室、会議室　等 交　流：ホール、工作室、学習室、事務室 老　福：音楽室、料理教室、集会室、事務室

篠ノ井総合市民センター建設スケジュール



施設概要調書

施設名: 長野駅東口公園　　担当課: 駅周辺整備課
公園緑地課

<table>
<tr><td>所　在　地</td><td colspan="6">長野市栗田973番地1</td></tr>
<tr><td>開　　設</td><td colspan="6">平成31年4月26日</td></tr>
<tr><td>施設概要</td><td colspan="6">〇面積：13,100㎡
〇主な施設：屋根付休憩施設・多目的トイレ・噴水・遊具
・防災備蓄倉庫・防災四阿・防災トイレ・耐震性貯水槽
・園路・水飲水栓・ベンチ・植栽・照明
〇総事業費：約470百万円</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指定管理者制度導入経過</td><td></td><td>公募・非公募</td><td colspan="2">指定期間</td><td colspan="2">指定管理者</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="7">施設利用状況</td><td colspan="2" rowspan="2">利用区分等</td><td colspan="4">利用実績</td></tr>
<tr><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>設置目的、基本方針</td><td colspan="6">・長野駅周辺地区の都市再生整備計画において、市民の憩いの場である公園の整備と地域コミュニティの活性化を目標に、土地区画整理事業で整備した。
・地元住民の代表者で構成したワークショップにおいて、『まちなかの豊かなみどりのなかで、「遊び」、「憩い」、「ふれあい」ができる公園』をテーマに掲げ、設計を実施した。</td></tr>
<tr><td>主な実施事業</td><td colspan="6">・長野駅周辺第二土地区画整理事業の完了予定は令和5年度
・長野駅東口公園開園実行委員会(地元組織)主催による開園式を去る5月11日(土)に行った。</td></tr>
<tr><td>現状と課題</td><td colspan="6">地元で組織する公園委員会が、地元主体のNPOによる運営などと比較検討を行い、パークPFI(公募設置管理制度)の意向を固め、公園緑地課に要望を提出した。(平成31年1月)
要望書の中で、導入にあたっては、地域が活性化し利便性が向上する事業、及び来園者が快適にくつろげる空間の提案を優先するよう申し添えられている。</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td colspan="6">・長野駅東口から公園の入り口となるふれあい広場、中央に広がる芝生広場、子供たちが楽しめるあそび広場、噴水に加えて防災備蓄倉庫、耐震性貯水槽を備えた防災のエリアがある。
・「長野駅東口公園」の名称は、地元役員で組織する公園委員会で決定した経緯がある。</td></tr>
</table>

①屋根付休憩施設

②多目的トイレ

③噴水

④ロープ遊具

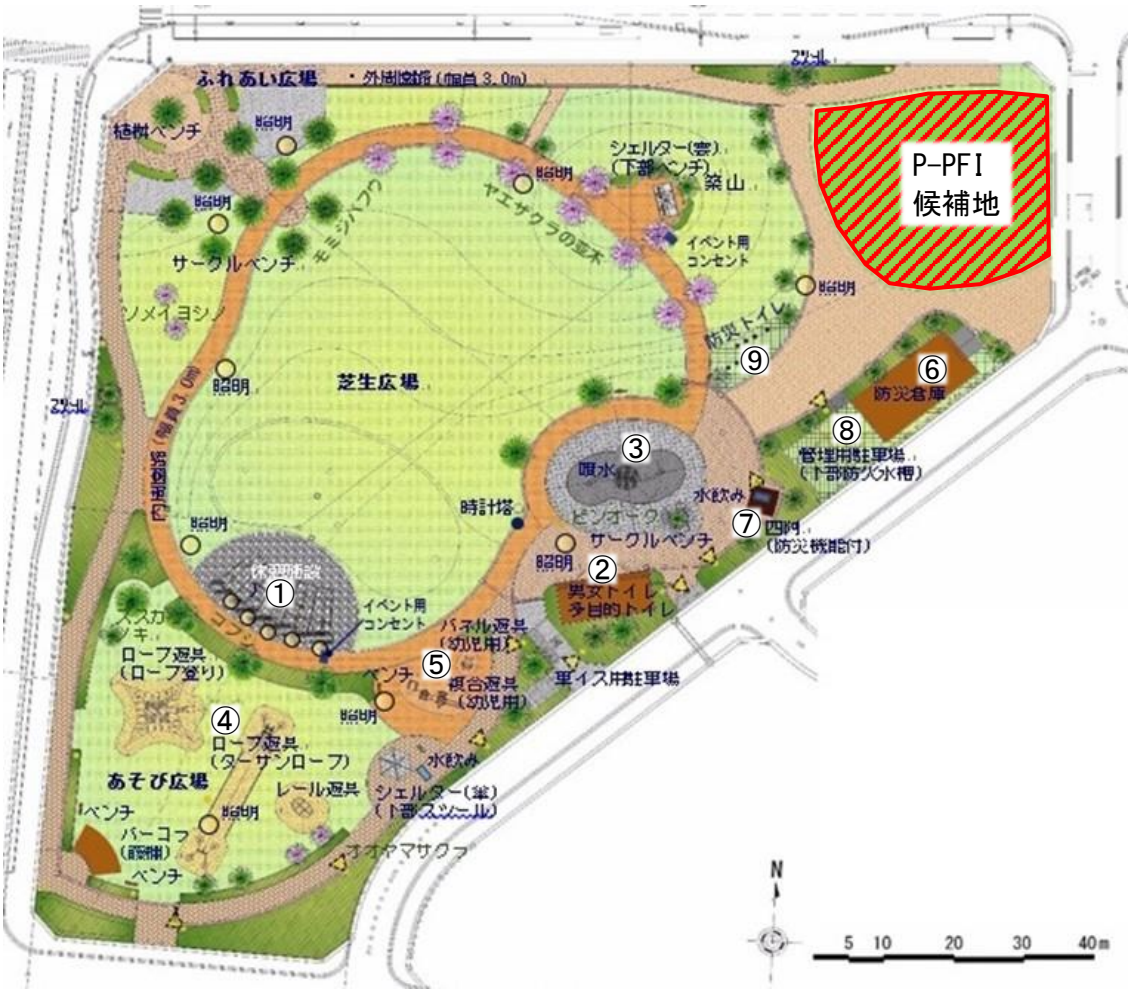
⑤幼児用遊具

⑥防災備蓄倉庫

⑦防災四阿と水飲み

⑧耐震性貯水槽

⑨防災トイレ



長野市
第 1086 号
31.1.15
都市整備部
公園緑地課

平成31年1月15日

長野市長　　加藤久雄　様

長野駅東口公園委員会
会長　吉田邦紘

長野駅東口公園の公園施設について

長野駅周辺第二土地区画整理事業の長野駅東口公園については、既に確保してある用地に都市公園法の公募設置管理制度を導入されることを希望します。

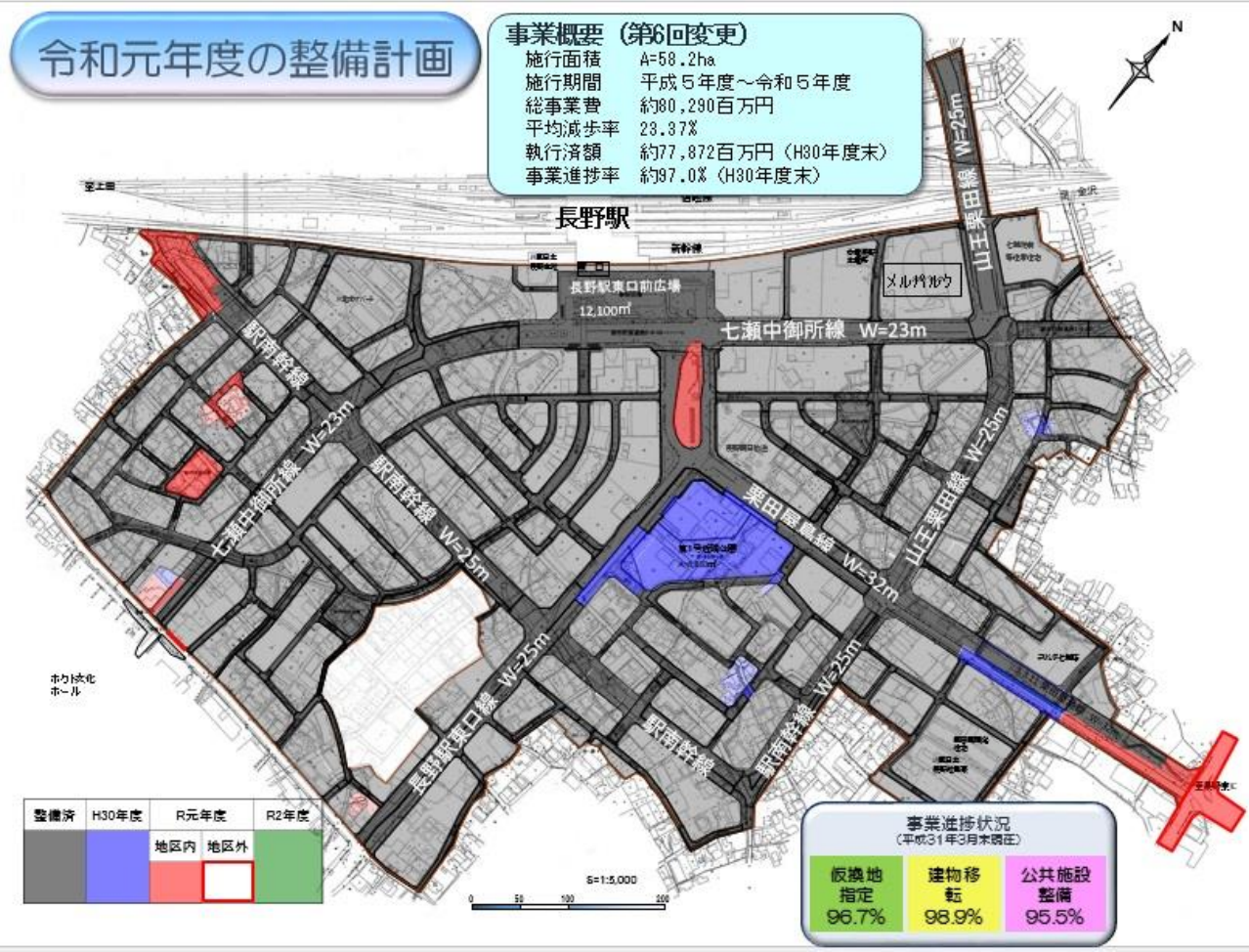
なお　公募設置管理制度の導入にあたっては、民間の創意工夫により地域が活性化し利便性が向上する事業及び来園者が快適にくつろげるような空間を提供できる提案を優先されますようお願い申し上げます。

公・都・非
一般庶務
管理担当
建設担当
緑化担当

令和元年５月 16 日
駅周辺整備課

令和元年度第１回長野市公共施設適正化委員会（現地視察）

長野駅周辺第二土地区画整理事業について

平成５年度に着手した土地区画整理事業は現在、進捗率は仮換地指定率が 96.7%、建物移転率は 98.9%、公共施設整備率も 95.5%となり、完了まであと少しの段階まで来ています。

未だ協力を得られない数名の権利者への対応と、その後の公共施設整備、換地計画作成等に要する期間として、現在、事業計画の変更を進めております。